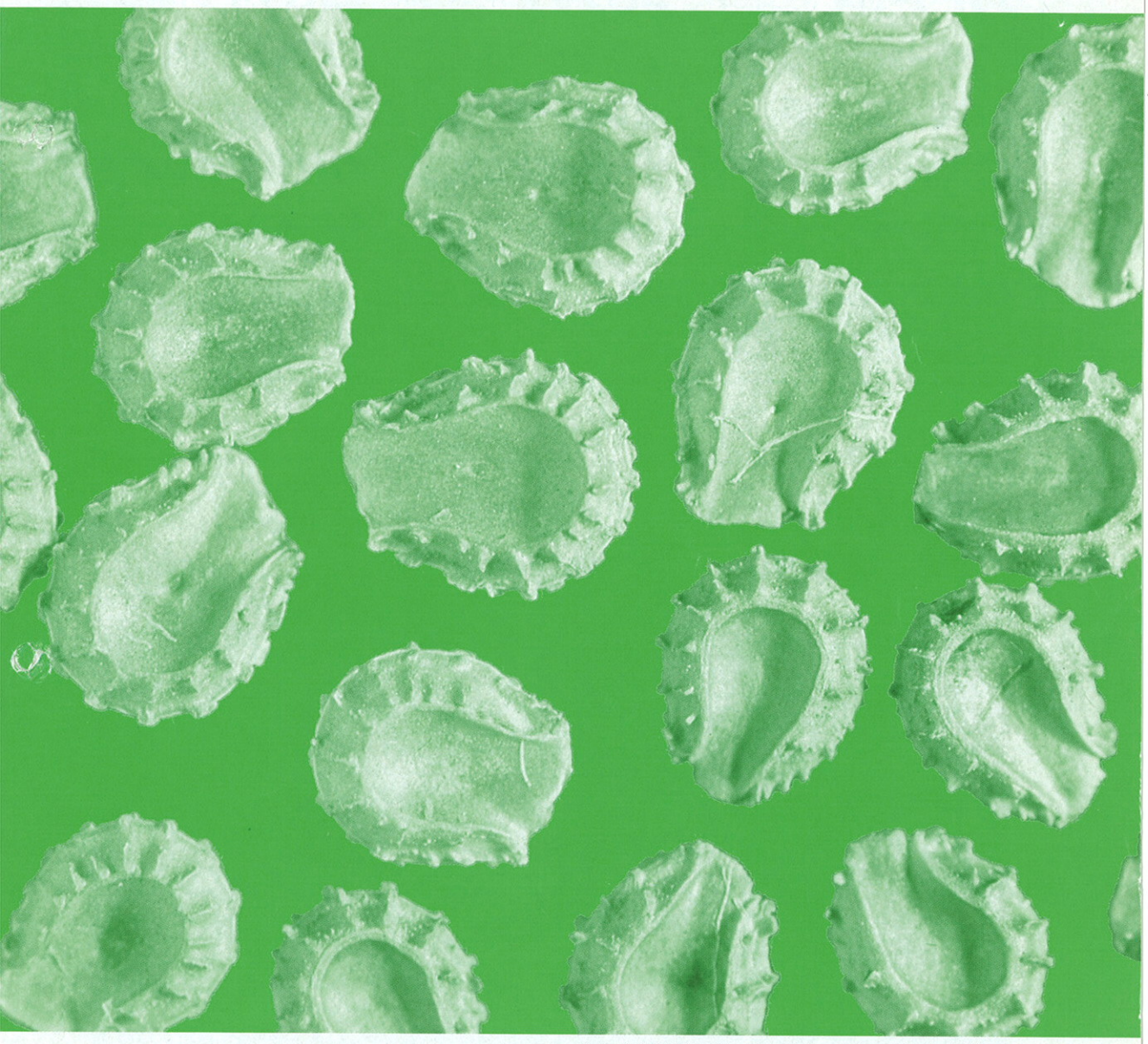
ISSN 0289-8233

植調

第44巻第11号



ハスノハカズラ（*Stephania japonica* Miers）長さ6mm

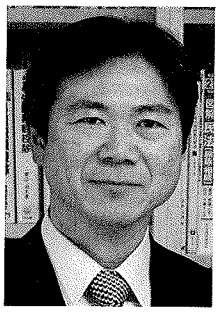
財団法人　日本植物調節剤研究協会編
http://www.japr.or.jp/

より豊かな農業生産のために。
三井化学アグロの除草剤

クサトリーDX 1キロ粒剤75/51 フロアブルH/L ジャンボH/L	シロノック 1キロ粒剤75 H/Lフロアブル H/Lジャンボ	三共シロノック 1キロ粒剤51
ラクダープロ 1キロ粒剤75/51 フロアブル・Lフロアブル	クサトッタ 粒剤 1キロ粒剤	三共スラッシャ 粒剤 1キロ粒剤
イネキング 1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ	イネエース 1キロ粒剤	シング 乳剤
三共スウィープ フロアブル	ザーベックスDX 1キロ粒剤	ザーベックスSM 粒剤 1キロ粒剤
クサファイター 1キロ粒剤	フォローアップ 1キロ粒剤	三共の草枯らし

三井化学アグロネット会員募集中！
インターネットを使って農薬使用履歴を記帳できる栽培履歴管理システム『かすが日誌』や、登録内容を携帯電話でチェックできるなど、特典いろいろ！登録は無料です。詳しくはホームページで！

三井化学グループ
三井化学アグロ株式会社
東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
ホームページ http://www.mitsui-agro.com/



巻頭言

平成23年度の税制改正で想うこと

(財)日本植物調節剤研究協会　監事
税理士法人　駒井会計事務所　税理士　**駒井良理**

2009年8月，日本にとっては歴史的な変動が起きた。第45回衆議院議員総選挙で民主党は300議席を超える絶対安定多数を獲得し，第一党であった自民党は大敗を喫し，ついに政権交代が行われた。

政権与党である民主党は，選挙の際に「マニフェスト2009」で「国民の生活を第一」と考え，①国の総予算の組み換え（ムダ使いの根絶），②子育て手当の支給，③年金・医療・介護の見直し，④地域主権の確立（農業の戸別所得補償制度等）⑤雇用・経済等に税金を集中的に使います，と公表した。それから現在に至るまでの政治・経済の動きは周知の通りだが，本年度の税制について政府は「平成23年度税制改正大綱」を昨年12月16日に閣議決定して公表し，本年3月には法案として成立するであろう「経済成長と格差是正」の実現を旗印に「法人税減税・富裕層負担増」といえる改正となった。

所得税・住民税については，所得控除の見直し，成年扶養控除の見直し，退職金の優遇制度廃止など。相続税・贈与税については，基礎控除の見直し，税率の改正。法人税は法人税率の引き下げが主な改正点であるが，増税分は法人減税と子ども手当に配分され，「マニフェスト」にこだわる故に財源探しのパッチワークになったようだ。

今回も政治的に消費税率の問題には触れず先送りされた感は否めないが，高齢化社会による社会保障（医療・年金・介護）の増大に対応するため，消費税の論議を避けて通るわけには行かなくするような前倒し的な改正の手法のように思われる。

平成23年度予算案では約10兆円の税収不足が生じ，これを埋めるにしても消費税率10％でも賄えない。また，社会保障が膨張し続ける結果として約900兆円の国債発行残高をどのように解消し，どこまで国民が負担しなければならないのだろうか？

改めて消費税改正に正面から論議していく必要があるのではなかろうか。

このような税制改正の中で農林水産に関して「マニュフェスト」は，農林水産業の再生，食料自給率の向上，食の安全，地産地消と口蹄疫の感染拡大の阻止の名のもとに1.8兆円，うち農業の戸別所得補償には1兆円割り振る政策であった。

確かに以前の農業政策では，高率の輸入関税により保護し，大規模化促進による生産性上昇を目指すことに力点を置いていた。これに対して民主党は戸別に補助金を支給し，自由貿易協定を進めながら農作物の国内生産を拡大しようとしている。但し，22年度は国の農業農村整備事業としての公共事業費が63％カットされ，これが戸別所得補償モデル対策に回されたことが果たしてよいかは疑問の残るところである。

世界的にみれば人口は増加しており，食糧生産はその人口増加に追いつけない。となれば日本も将来食糧不足ということもあり得るかもしれない。気候変動，穀物によるバイオ燃料，中国などの大国での大量消費など，すでに食糧不足の警鐘がなされているなか，先進国は途上国に対して農業研究への政府開発援助を増額させているが，日本は逆に大幅に減少させている。日本の農業政策の将来を考えると不安がよぎる。

国家予算の歳入，歳出は，国民性，政治，時代，国際関係等々によって変わってくるのだが，せめて政治家は，国家大計のための政治とはなにか，そこから導き出される税制の在り方はいかなるものかを。国民は，明日を担う若人や子孫のために揺るぎのない教育，食育はどうあるべきかを論議してもよいのではないかと考える。

政治家だけの問題ではなく政治家を選んだのは国民であり，国民一人一人がこれからの日本を真剣に考えていかなければならないのであろう。

目　　次

(第 44 巻 第 10 号)

巻　頭　言

平成23年度の税制改正で想うこと …… 1
<(財)日本植物調節剤研究協会　監事
税理士法人　駒井会計事務所　税理士　駒井良理>

ユリの強い香りを抑制する方法 …… 3
<農業・食品産業技術総合研究機構　花き研究所
花き品質解析研究チーム ,大久保直美>

千葉県印旛沼周辺水田へのナガエツルノゲイトウの侵入と防除 …… 10
<(財)自然環境研究センター　小出可能>

平成22年度　水稲関係除草剤試験判定結果… 21
<(財)日本植物調節剤研究協会>

日本雑草学会 創立50周年記念事業について… 113

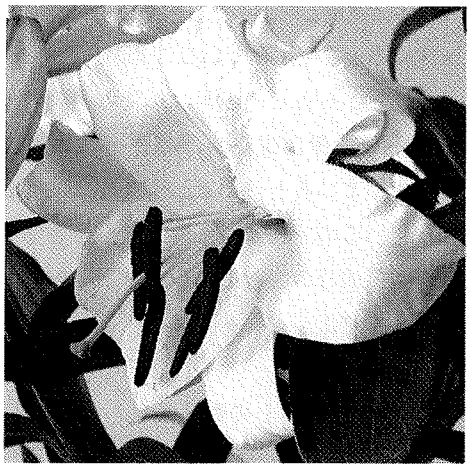
農薬生物活性研究会第28回シンポジウムの開催について …… 114

ユリの強い香りを抑制する方法

農業・食品産業技術総合研究機構　花き研究所
花き品質解析研究チーム　大久保直美

(1) はじめに

豪華な美しい白い大輪の花を持つユリ「カサブランカ」(*Lilium* 'Casa Blanca'; 図－1) は、オリエンタル・ハイブリットの代表品種であり，ユリの中でも高単価な切り花である。高級で華やかなイメージがあることから、贈答用や結婚式のブーケなどに用いられている。一方，特有の甘く濃厚な強い芳香を持つために，強い香りを嫌う場，例えば飲食店や結婚式の披露宴など食事を伴う場では敬遠されがちである。また一般家庭では，閉め切った室内に「カサブランカ」が一輪でもあると香りでむせるようになることから，不快臭として嫌われる場合がある。以上のように、オリエンタル・ハイブリットのユリの個性である強い芳香は，ユリの販路拡大の足かせといえる。

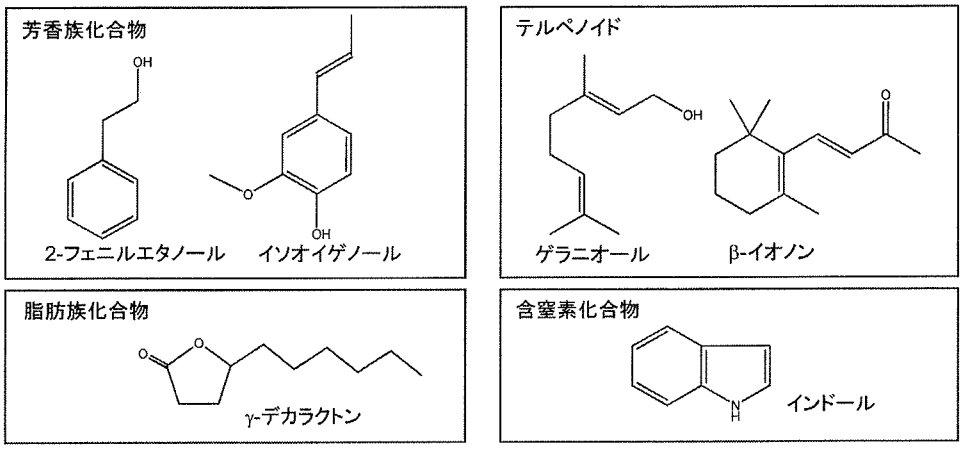


図－1　ユリ「カサブランカ」

ユリには香らないアジアティック・ハイブリットといった系統もあるが，オリエンタル・ハイブリットの豪華さを持つ品種は見受けられない。そこで，外観には影響せず花の香りを抑えることができる薬剤を見出し，その処理方法を開発した[1,2,3]。本稿ではまず花が香る仕組みについて説明し、「カサブランカ」の香り抑制法の概要を説明する。

(2) 花の香気成分の特徴

花の香気成分は，芳香族化合物，テルペノイド，脂肪族化合物，含窒素化合物などに分類される（図－2)。成分の組成は同じでも，含まれる割合によって香りの質は大きく変わる。成分そのものが良いにおいのものもあれば，濃ければ悪臭，ごく薄ければ芳香となるものもある。また，他の成分と一緒になることで香りの質を高めるものもある。例えばバラの香気成分である2-フェニルエタノールやゲラニオールは，いわゆるバラ様のにおいである。クチナシなどに含まれるγ-デカラクトンはモモのにおいがする。ジャスミンに含まれるインドールは，濃いと悪臭がするが，薄めるとジャスミン様のにおいになる。キンモクセイの香りを特徴づけるβ-イオノンは，他の成分と混ざることによって香りに



図－2 香気成分の構造（例）

広がりを与える。

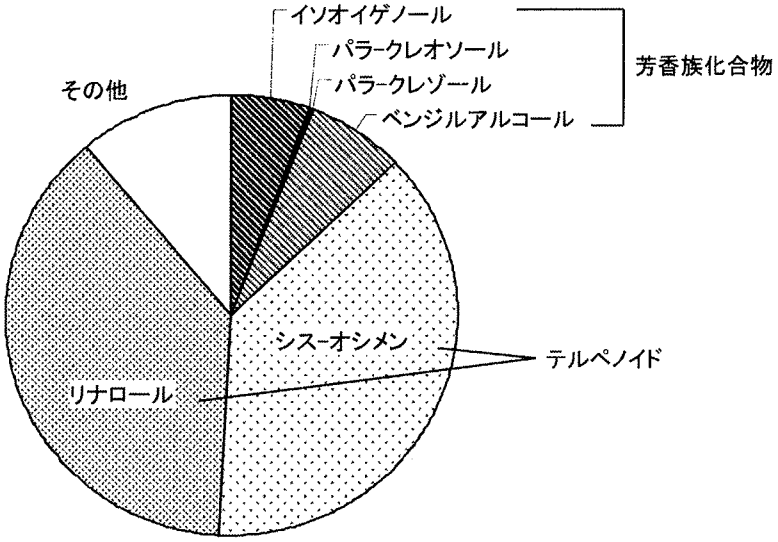
花の香りの強弱は日周変化することが多い。花の香りの主な役割は，昆虫などのポリネーター（花粉を運ぶもの）を引きよせることである。花は香気成分をポリネーターの活動時間に合わせ一斉に発散させている。ポリネーターが夜活動するものは夜，昼活動するものは昼に香る。例えばペチュニアの原種の一つであり、花の香り研究のモデル植物として多用されている*Petunia axillaris*（以後芳香性ペチュニア）は、ポリネーターが夜行性のスズメガであり，夜間に爽やかさのある甘い芳香を発散させる。主な香気成分は，安息香酸メチル，イソオイゲノール，ベンズアルデヒドなどの芳香族化合物である[3]。これらの成分は昼間にはほとんど発散されない。

香気成分の発散量の日周変化の制御機構を明らかにするために、芳香性ペチュニアの花を採取して香気成分の分析をしたところ，内生成分は発散成分と同調して変動していた[4]。花から検出された香気成分は葉にはほとんど存在していないこと、香気成分を生合成する酵素は花弁の表面細胞に存在していること[5]から、花の香気成分は、葉など他の器官で作られて花へ運ばれているのではなく、花の中で必要な時間帯に *de novo* 合成され発散していると考えられる。

芳香性ペチュニアの香気成分である芳香族化合物は，糖を出発物質とし，アミノ酸のフェニルアラニンを経て生合成される。数年前、香気成分生合成酵素遺伝子の発現を調節する転写因子*ODORANT1*が芳香性ペチュニアより発見され，この転写因子がフェニルアラニン以前の生合成段階の酵素の発現を制御していることが示された[6]。さらに、芳香性ペチュニアの香気成分の代謝に関わる化合物の網羅的な解析から、香気成分の発散量と同調した日周変化はペントースリン酸経路より発生していることが示された[7]。以上のことから香りの強弱は，花の中の内生成分の素となる生合成経路上の化合物の増減によって生じていると言える。生合成には酵素が関わっているので、これら酵素の働きを抑制すれば、香気成分の発散を制御できるのではないかと考えられた。

(3)「カサブランカ」の香り

「カサブランカ」の香気成分は、ダイナミックヘッドスペース法を用いてテナックスTAカラ



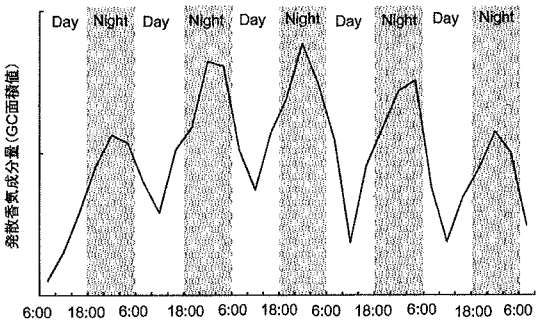
図－3　開花後1日目の「カサブランカ」の花の香気成分組成

ムに採取し、GC-MSを用いて解析した。その結果、主要香気成分は、イソオイゲノール（クローブ様のスパイシーな香り）、ベンジルアルコール（弱い花の香り）などの芳香族化合物、シス-オシメン（爽やかな香り）、リナロール（おだやかなフローラル様香気）などのテルペノイドであった。また、微量成分としてパラ-クレゾールやパラ-クレオソール（芳香族化合物）などの消毒液のような匂いを持つ成分も含まれていた（図－3）。

「カサブランカ」の花は常に同じように香るわけではない。ほとんど香らないつぼみの段階から、開花後一気に香気成分を発散させ、日が経つにつれて香気成分量は増える。1日のうちでも香気成分量は変化し、夜になると増え、昼間には減る（図－4）。23℃一定、12時間日長のインキュベータ中であれば、開花後3日目に香気成分量はもっとも多い。さらに、開花後日数が経つにつれて香りの質は変化する。開花直後はフレッシュな香りのモノテルペンの割合が多いが、次第に甘さを含んだスパイシーな香りの芳香族化合物の割合が増えていく。「カサブランカ」のにおいをきつく感じるのは、消毒臭のような悪臭になり得る成分を含む芳香族化合物に一因があると考えられた。

(4) フェニルアラニンアンモニアリア-ゼ（PAL）阻害剤による香り抑制効果

芳香族化合物は、糖から解糖系、ペントースリン酸経路、シキミ酸経路を経て生合成される。

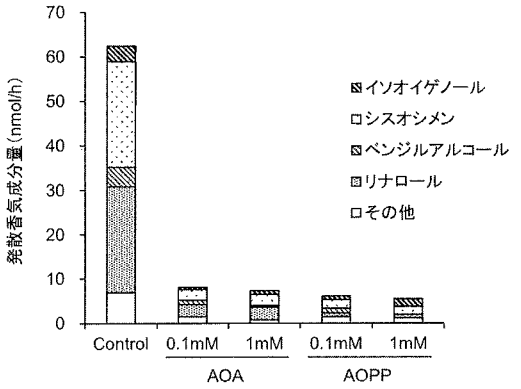


図－4　「カサブランカ」の総香気成分発散量の経時変化

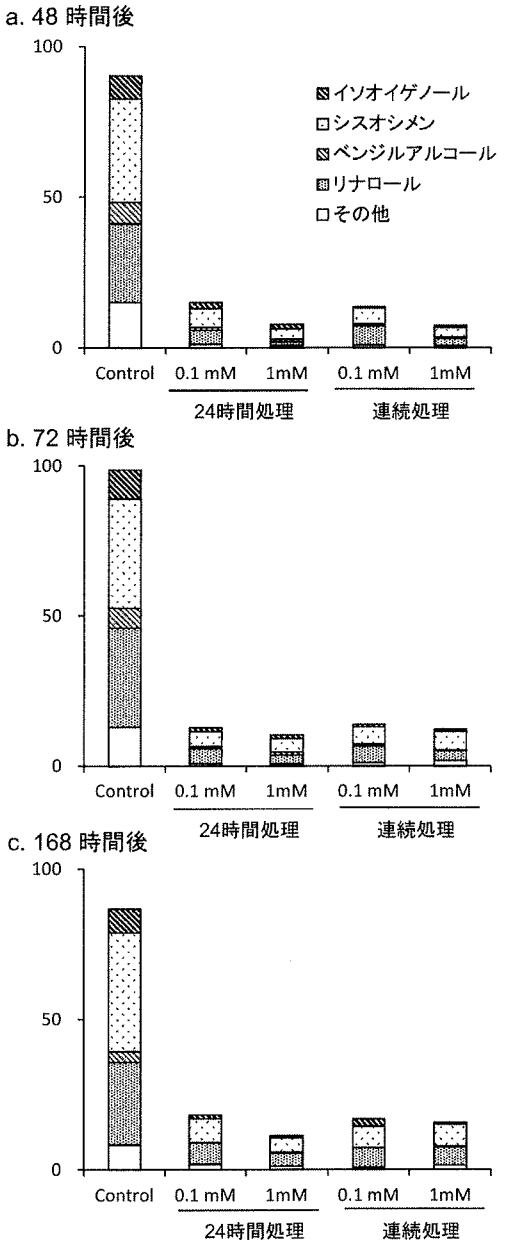
発散香気成分量を減少させるために、シキミ酸経路の最終産物であるアミノ酸のフェニルアラニンから *trans*-桂皮酸への段階を触媒するフェニルアラニンアンモニアリアーゼ（PAL）の阻害剤について検討した。

ＰＡＬ阻害剤としては、アミノオキシ酢酸（AOA）とL-2-アミノオキシ-3-フェニルプロピオン酸（AOPP）を用いた。1 mM, 0.1 mM, 0 mM（コントロール）水溶液とし、23℃一定、12時間日長のインキュベータ中で「カサブランカ」切り花を処理した。24時間目には、PAL阻害剤処理を行った「カサブランカ」の発散香気成分量はコントロールと比べ大幅に減少していた（図－5）。特筆すべきは、目的としていた芳香族化合物だけでなくテルペノイドの量も減ったことで、香気成分量が全体的に減少し、官能的な香りの質が弱くなったことである。

AOA, AOPPともに、効果はほぼ同等であった。AOAはエチレンの生成を抑制することからエチレン感受性の切り花の鮮度保持剤として使用されてきたこと、AOPPの薬剤コストはAOAの約400倍であることから、切り花への処理薬剤としてはAOAが適当であると考えられた。



図－5　PAL阻害剤が処理開始24時間後の「カサブランカ」の花の発散香気成分に与える影響



図－6　「カサブランカ」の花の発散香気成分量の変化

(5) 24時間処理と連続処理の比較

次に、24時間AOA水溶液に生けてその後水に移した場合（24時間処理）と、鑑賞期間中AOA水溶液に生け続けた場合（連続処理）につ

いて、香り抑制効果の比較を行った。1 mM, 0.1 mM, 0 mM (コントロール)水溶液とし、(4) と同条件のインキュベータ中で「カサブランカ」切り花の処理を行った。24時間処理、連続処理ともに、処理後48時間、72時間、168時間 (1週間) 目の花においても、香気成分量はコントロールと比較して10-20%となり、香り抑制効果が認められた (図－6)。AOA 1 mM水溶液処理区については、24時間処理、連続処理ともに、時間の経過と共に茎や花の一部に褐変が見られた。AOA 0.1 mM水溶液であれば連続処理を行っても花の外観に影響を与えなかったことから、「カサブランカ」の花の香り抑制のための処理濃度は0.1 mMが適当であると考えられた。

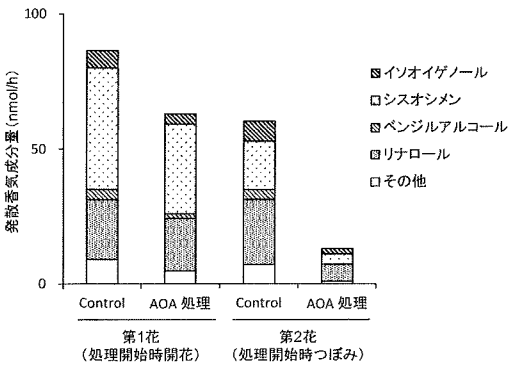
(6) 処理のタイミング

(4)、(5) の試験に用いた「カサブランカ」は、処理の開始時にはつぼみの状態で処理を行った。開花後の「カサブランカ」に対する香り抑制効果を調べるために、第1花が開花した「カサブランカ」(処理開始時開花) について、AOA 0.1 mM水溶液処理を24時間行ったところ、48時間目の花の発散香気成分量は開花後処理の花はコントロールの70%程度になった (図－7)。「カサブランカ」の香気成分の発散は、開花とともに増加し、開花中は夜間増加する (図－3)。香気成分の生合成が開始してから処理を行っても、抑制効果は得られにくいと考えられる。一方で、第一花が開花した枝でも、処理時にはつぼみであった第2花 (処理開始時つぼみ) には、香り抑制効果が確認された (図－8)。以上のことから、処理には香気成分の生合成が始まる前のつぼみの段階が適していると考えられる。

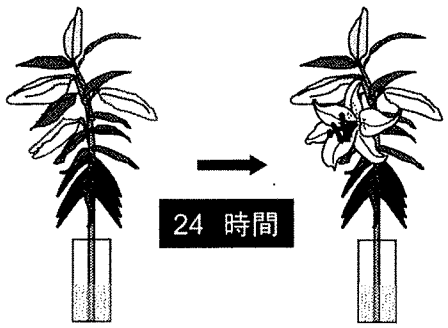
(7) まとめ - 香り抑制剤の処理方法

AOA水溶液処理により「カサブランカ」の香気成分量が大幅に減り、官能的にも香りがマイルドになったことから、AOAを含む溶液を「香り抑制剤」とした。

香り抑制剤の処理方法としては、基本的には、「カサブランカ」のつぼみの切り花を香り抑制剤に生けるだけである (図－8)。処理後1日経って開いた花の香気成分量は水に生けた花の10-20%程度となり、官能的にも弱く感じられた。花が開いてしまうと香気成分生合成が始まり香り抑制効果が低くなるので，処理はつぼみのう



図－7 「カサブランカ」の開花段階の違いがAOA処理効果に与える影響



つぼみの状態の切り花を24時間以上生け抑制剤を十分吸わせる。

図－8 香り抑制剤の処理方法
※切り花の状態や品種によって異なる

ちに開始することがポイントである。処理時間が長いほど香り抑制効果は確実であり，規定の濃度であれば生けたままにしても花や葉には影響はない。「カサブランカ」以外の他の香りの強いユリや花き類にも有効であるが、他の花きに使用する際には、処理時間や濃度等、事前に十分に検討する必要がある。

(8) おわりに

香りは個人的な嗜好性が強く，ユリの濃厚な香りを好む人も多い。今回の方法の特徴は，ユリの香りに対する消費者の嗜好に合わせて，処理の有無によって「濃厚に香るタイプ」と「マイルドに香るタイプ」を容易に調整することが可能なことである。消費者の選択肢が増えることにより，ユリの需要拡大につながると考えている。

昨年度学会等で発表して以来，ユリ生産・販売などに関わる様々な団体，個人より問い合わせを受けた。現在（2010年12月）は埼玉県などの協力を得て、香り抑制剤の実用化に向けた実証試験を進めている。

その際生じた問題点は、切り花は時期や産地などによって質が異なるため、切り花の状態によって処理効果が変わることなどである。誰にでも使える方法にするためには、さらなる検討が必要と考えている。

また、消費者が処理したユリをどのように受け止めるか、ということも課題である。処理したユリは、元の無処理のユリと比較すれば香りの抑制効果は認められるが、無臭になるわけではないので、ユリの香りは残っている。元の香りを知らない人にとっては、マイルドとはいえ香ることには変わりはない。現在、ユリの香りに対する消費者の反応等の調査を進めている。

参考資料

1)Oyama-Okubo, N., et al. Control of Floral Scent Emission by Inhibitors of Phenylalanine Ammonia-lyase in Cut Flower of *Lilium* cv. 'Casa Blanca'. J. Japan. Soc. Hort. Sci. (印刷中)

2)特願 2008-300353

3)花き研究所HP http://flower.naro.affrc.go.jp/press/20090624/lily20090624.html

4)Oyama-Okubo, N., et al. 2005. Emission mechanism of floral scent in *Petunia axillaris*. Biosci. Biotechnol. Biochem. 69(4): 773-777.

5)Kolosova N., et al. 2001. Cellular and subcellular localization of s-adenosyl-l-methionine:benzoic acid carboxyl methyltransferase, the enzyme responsible for biosynthesis of the volatile ester methylbenzoate in snapdragon flowers. Plant Physiology. 126: 956-964.

6)Verdonk J. C., et al. 2005. ODORANT1 regulates fragrance biosynthesis in petunia flowers. Plant Cell 17: 1612-1624.

7)Oyama-Okubo, N., et al. (投稿中)

クログワイの悩み、スパッと解決。

クログワイ
学名:*Eleocharis kuroguwai* Ohwi

多数の芽を持つ塊茎を、土中深くに形成し、4～5年の寿命を持ちます。水田に水を入れた時から収穫時までダラダラと出芽する生態が、防除を困難にしている大きな要因です。

適用拡大でさらに使いやすく!

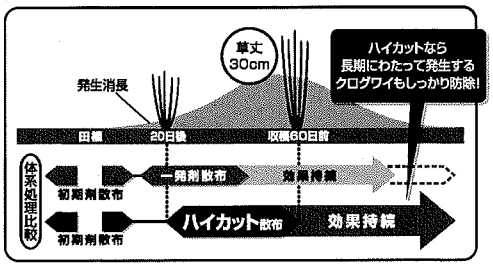
初期剤との体系で、クログワイもしっかり防除。
一発剤よりも遅い時期の散布で、徹底的にたたきます。

水稲用除草剤

ハイカット®
1キロ粒剤

●ノビエの3.5葉期まで防除
●SU抵抗性雑草にも有効 ●難防除雑草に卓効

【クログワイ防除の体系処理比較】



®は日産化学工業(株)の登録商標

日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1(興和一橋ビル) TEL 03(3296)8141 http://www.nissan-agro.net/

千葉県印旛沼周辺水田へのナガエツルノゲイトウの侵入と防除

(財)自然環境研究センター　小出可能

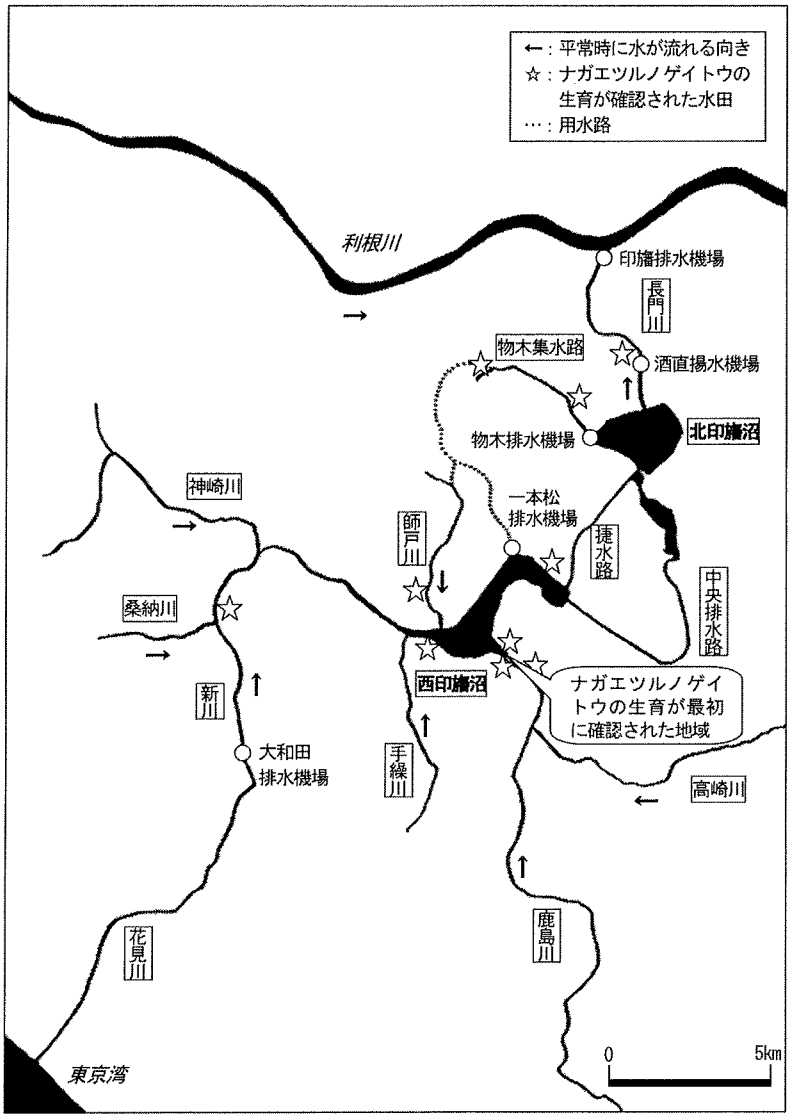
1.　はじめに

ナガエツルノゲイトウ（*Alternanthera philoxeroides*）（写真－1）は，「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」が2005年（平成17年）6月に施行されるのと同時に，特定外来生物に指定された植物である（環境省自然環境局）。ナガエツルノゲイトウと同時に特定外来生物に指定された植物はミズヒマワリとブラジルチドメグサで，いずれも水辺で生活する水生植物（水草）である。外来生物法で対象としている外来生物による被害は，生態系への被害，人の生命・身体への被害及びに農林水産業への被害である。ナガエツルノゲイトウが特定外来生物に指定された理由は，生態系への被害である水生生物への影響と，水利用の障害になるというもので，水田雑草として農業被害を引き起こすことは，これまで問題とされていない。

写真－1　ナガエツルノゲイトウの花
(2008.6.28 千葉県本埜村)

ナガエツルノゲイトウが水田内にも侵入しているという情報が，兵庫県（水田，2005），熊本県（大段，2005），静岡県（野口，2006）から寄せられている。千葉県印旛沼周辺においても，ナガエツルノゲイトウの水田内への侵入が確認されている（佐倉印旛沼ネットワーカーの会，2008；自然環境研究センター，2008）。印旛沼周辺の河川の川岸や沼の周囲については，調査面積が比較的限られていることもあり，詳細な調査によってナガエツルノゲイトウの生育状況が把握されつつある（佐倉印旛沼ネットワーカーの会，2010）。しかし，印旛沼周辺に広がる水田については全域を対象とした調査は難しく，断片的な生育情報が得られている状況である（図－1）。

ナガエツルノゲイトウの水田内への広がりは，今のところ限られた範囲，面積であるため，それほど大きな問題にはなっていない。しかし，そ



図－1　印旛沼周辺の水域の概要とナガエツルノゲイトウが生育する水田の分布
佐倉印旛沼ネットワーカーの会（2008）と現地調査を基に作成

の生態や繁殖状況を知るにつれて，もしも水田内に侵入し，広がってしまえば，日本の稲作にとって非常に厄介な雑草になるのではないかと危惧している。ここでは印旛沼周辺におけるナガエツルノゲイトウの水田内への侵入と防除について，文献情報や現地で得られた知見をもとに考察する。

2.　生態的特徴

ナガエツルノゲイトウは，南アメリカのアルゼンチン北部周辺にあるパラナ川の氾濫原が原産地のヒユ科のツルノゲイトウ属の植物である。ツルノゲイトウ属は世界で170～200種類が知られるが，日本に在来種はなく，数種の外来種が知られるのみである。ナガエツルノゲイトウの日本への侵入経路は明らかではないが，アルテルナンテ

ラなどの通称名でツルノゲイトウ属の様々な植物が鑑賞用の水草として輸入，利用されていることから，鑑賞用の水草として利用されていたものが，逸出または遺棄されたと考えられる。

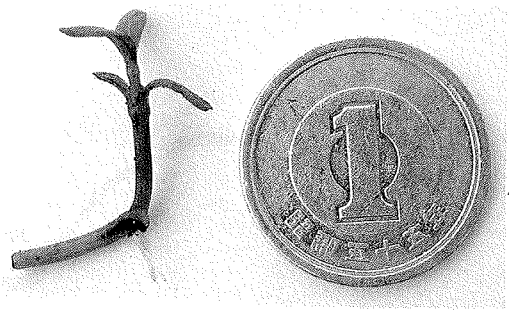
ナガエツルノゲイトウの花序は直径12～16mmの球形で，花の柄が長い（1～4cm）ことが「長柄蔓野鶏頭」の名前の由来である。開花期は4～10月頃である。葉の縁には細かい毛のような鋸歯がある。茎は長さ1m以上，太さ4mmにもなり，柔らかくて中は空洞で水に浮きやすい構造である。果実は痩果だが，日本での結実は確認されていない。

ナガエツルノゲイトウは，日当たりの良い池沼，水路，畑地などに生育する。富栄養な水質を好み，耐塩性がある。長期間の乾燥に耐えるので，陸上植物としても生育できる。寒い地域では生育が遅れ，霜にあたると葉などの地上部は枯れるが，地下部の根茎や根は生きている。

ナガエツルノゲイトウは，茎の節から発根，萌芽しながら水面上に茎を伸ばし，マット状の広がりをもった群落を形成する。そのため水深が深い水面上でも生育できる。茎は簡単にちぎれるのでマット状の塊が川を流れることもある。また，長さ1cm程度の茎の断片からも再生する（写真－2）。

3. 影響や被害

ナガエツルノゲイトウは，世界各地の温帯～熱帯に分布し，水田や野菜畑の雑草として30ヶ国で問題になっている（Holm et al., 1997；ISSG, 2006）。中国では急速に分布を拡大しており，イネ，コムギ，トウモロコシ，サツマイモ，レタスなどの減収や，水力発電，漁業への悪影響をもたらしている（Yu, 2006；Commonwealth of Australia and the National Weeds Strategy Executive Committee, 2000）。アメリカ合衆国南部では，湖沼や潅漑水路などで水生雑草として大繁茂している（芝山，1993）。オーストラリアやニュージーランドでは，保護地域や農耕地に侵入し，他の生物を覆い尽くす重要な雑草として防除計画が立てられている（Commonwealth of Australia and the National Weeds Strategy Executive Committee, 2000；Environment Waikato, 2007）。



写真－2　小さな茎の断片から萌芽，発根しているナガエツルノゲイトウ（2007.7.22 千葉県佐倉市）

日本でナガエツルノゲイトウが最初に報告されたのは，1989年の兵庫県尼崎市だが（村田，1989），1982年に沖縄島で撮影された写真がある（多和田・池原，1989）。その後も分布を拡大し，これまでに千葉県のほか，静岡県，滋賀県，京都府，大阪府，徳島県，福岡県，佐賀県，熊本県，鹿児島県で生育が確認され，一部の地域では駆除も行われている。

4. 印旛沼周辺での分布の拡大とその要因

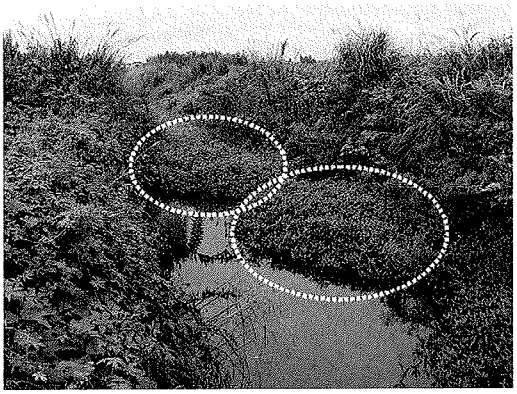
印旛沼周辺で，最初にナガエツルノゲイトウの分布が確認されたのは1990年で，図－1に示したように西印旛沼に南東から流れ込む鹿島川の河口である（笠井，2001）。1994年までは，分布は鹿島川の河口付近に限られていたが，2001年になると，西印旛沼の北部や北印旛沼で

も確認されるようになった。さらに2003年になると，西印旛沼に北側から流れ込んでいる師戸川（もろとがわ）にまで生育しているのが多数確認された。最近の調査では，ナガエツルノゲイトウの生育が確認されていないのは，図－1に示した河川や水路のうち利根川，中央排水路，手繰川のみである（佐倉印旛沼ネットワーカーの会，2010）。

ナガエツルノゲイトウが，上流部にあたる師戸川にまで分布を拡大した要因について，杉山（2006）は，西印旛沼にある一本松排水機場から揚水された水とともに，茎の断片が運ばれたことをあげている。印旛沼周辺には，図－1に示した以外にも，水田に安定して水を供給するため，開渠，暗渠を含む用排水路や，大小の揚排水機場が多数整備されている（印旛沼土地改良区，2007）。これらの土地改良施設を通じて水田へ供給される水とともに，ナガエツルノゲイトウの茎の断片が運ばれて分布を拡大している可能性がある。

印旛沼の北側を流れる利根川との間には，印旛沼排水機場と酒直揚水機場，南側を流れる花見川との間には大和田排水機場が整備されている（図－1）。台風などの大雨で印旛沼の水位が上昇した場合，これらの揚排水機場を通じて利根川や花見川に沼の水が排水される仕組みになっている（水資源機構，2001）。ナガエツルノゲイトウの分布は花見川沿いにも広がっており，利根川にも分布を拡大している可能性は高い（千葉市，2009）。

印旛沼周辺におけるナガエツルノゲイトウの生育環境は，水路や河川，畦畔や法面，水田に及んでいる。そこで次項からは，これらの環境ごとに，ナガエツルノゲイトウの生態的特徴，被害，防除方法などについて述べる。ナガエツルノゲイトウの形態的特徴や生育状況については，環境省自然環境局の外来生物法のホームページの「特定外来生物同定マニュアル」にも掲載されている。なお，外来生物法により，生きた状態での特定外来生物の運搬は禁止されているので，防除のために生きた状態で運搬する場合には，「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づく廃棄物の運搬の許可を受けた場合を除き，所定の手続きが必要である。



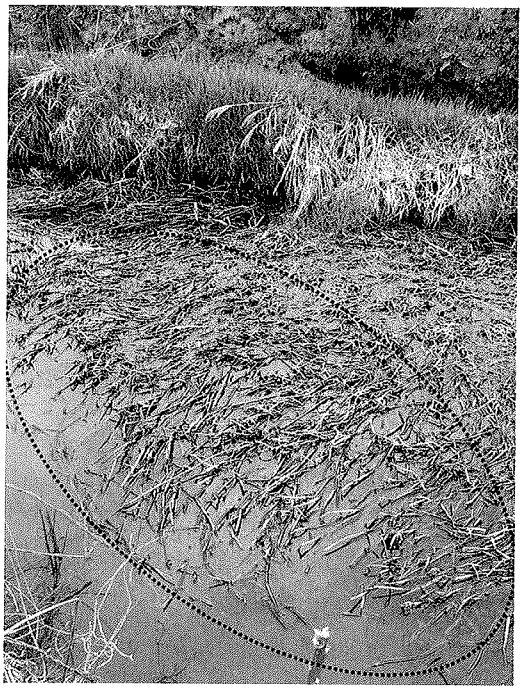
写真－3　水路内でマット状に水面に広がるナガエツルノゲイトウ（2007.10.9 千葉県本埜村）

5. 水路や河川

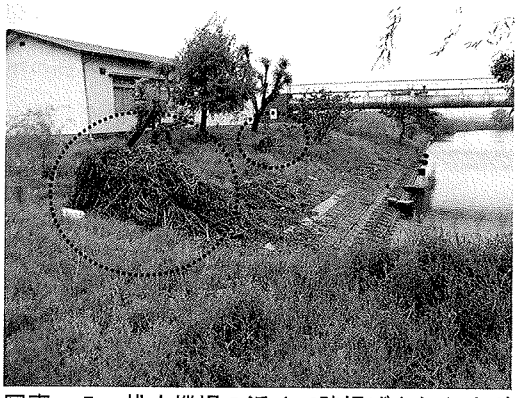
ナガエツルノゲイトウが最も目立つ生育環境は水路や河川で，水面上にマット状に広がった群落は，初めて見る人でも遠くから識別することができる（写真－3）。冬の間は茶色い茎だけになって枯死したように見えるが（写真－4），3月になるとこれらの節から赤い芽を出し，5月には葉を展開，6月には花が見られるようになる。

河川や水路で繁茂したナガエツルノゲイトウは，船の通行や釣りの障害になったり，水流阻害を引き起こす。また，ちぎれた植物体が水路に設置された除塵機などに詰まると，通水障害を生じる。

防除方法としては，他の水草と同様に陸揚げされる（写真—5）。陸揚げ作業は，ナガエツルノゲイトウが生長を開始する前に行った方が効



写真－4　茶色く枯死したように見える水路内のナガエツルノゲイトウ
(2008.3.30 千葉県本埜村)



写真－5　排水機場の近くで陸揚げされたナガエツルノゲイトウの山
(2008.5.4 千葉県本埜村)

写真－6　陸揚げされた茎の山(写真－5の中の左側に示したもの) から生長したナガエツルノゲイトウ　開花もみられた(2008.6.28千葉県本埜村)　8月には，これらが刈り取られた茎から萌芽しているのも確認された。

率が良い。ただし，ナガエツルノゲイトウの大きな特徴は，陸揚げされても腐敗，乾燥することなく生存し続け，新たな発生源となることである（写真－6)。そのため陸揚げする際には土壌の上に放置せず，ブルーシートなどの上である程度乾燥してから焼却するか，除草剤の散布またはブルーシートなどによる遮光によって，完全に枯死させるなどの処理が必要である。

印旛沼周辺でナガエツルノゲイトウが分布を拡大した経路の一つとして，水路や河川内の泥の陸揚げや運搬も挙げられている。こうしたことを引き起こさないためには，ナガエツルノゲイトウが生育する水域の土の取り扱いにも十分注意しなければならない。

ナガエツルノゲイトウは日当たりを好む性質があり，現地調査においてもヨシやガマなどの大型水草が繁茂している中には生育していなかった。杉山・倉本（2004）は，ナガエツルノゲイトウの拡大を防ぐための植生管理として，沿岸の抽水植物の植被を増やすことが有効であるとしている。こうした性質を利用して，遮光

シートによる防除の取り組みが大阪府や滋賀県により実施されている（読売新聞2009年2月4日）。

6. 畦畔や法面

ナガエツルノゲイトウは，水田の畦畔，機場周辺や道路の法面といった陸上にも生育している（写真－7）。水中で生育している場合に比べ，陸上の特に乾燥した場所では草丈が低く，花もないため確認しにくい。形態的な特徴としては，葉の幅が最も広いのが真ん中よりやや先端寄りである（倒披針形～倒卵形と呼ばれる）ことである。

陸上のナガエツルノゲイトウは草丈が低いため，雑草害を及ぼすよりは，密生して畦畔や法面の土壌を安定させる働きがあるようにもみえる。しかし，畦畔に根を張ったナガエツルノゲイトウは，やがては節から発根，萌芽しながら茎を伸ばして水田内へ侵入するため，そうなる前の防除が重要である。

写真－7　ナガエツルノゲイトウで覆われた畦畔（2008.8.2 千葉県本埜村）

海外では，陸上で生育したナガエツルノゲイトウが4mもの深さにまで根系を発達させることが確認されている(Department of the Environment and Heritage and the CRC for Australian Weed Management, 2003)。こうした陸上型のナガエツルノゲイトウを根ごと抜き取ることは，ほとんど不可能である。

一般的な雑草管理の一つである草刈りでは，ナガエツルノゲイトウの草丈が低くはなるが，刈り取られた茎の断片が水田内などに飛び散り，生育範囲を広げてしまうことが危惧される。また，光を巡って競争相手となる他の雑草も刈られるため，ナガエツルノゲイトウの生育が促進されてしまう可能性も考えられる。そのため他の植物が生育しているのであれば，むしろ草刈りを行わずに草丈の高い他の植物を繁茂させ，ナガエツルノゲイトウの生育を抑制する方法も考えられる。特に希少種が生育しているような自然環境では，こうした管理方法が推奨される。グリホサートなどの除草剤を使用する場合，1回の薬剤散布で根絶するのは難しい。ナガエツルノゲイトウは，茎の節々から発根，萌芽する性質を持つため，薬剤が植物体全体に行き渡らず，枯死するのは途中の節までの一部のみである（写真－8）。また，地上部が完全に枯死したように見えても地下部の根茎や根が生存し続け，再生するので，継続的な管理が必要である。

畦畔の場合も，防草シートなどによる遮光は有効と考えられる。

7. 水田

ナガエツルノゲイトウは水田雑草として一般的に知られている種類ではなく，花や葉の形が

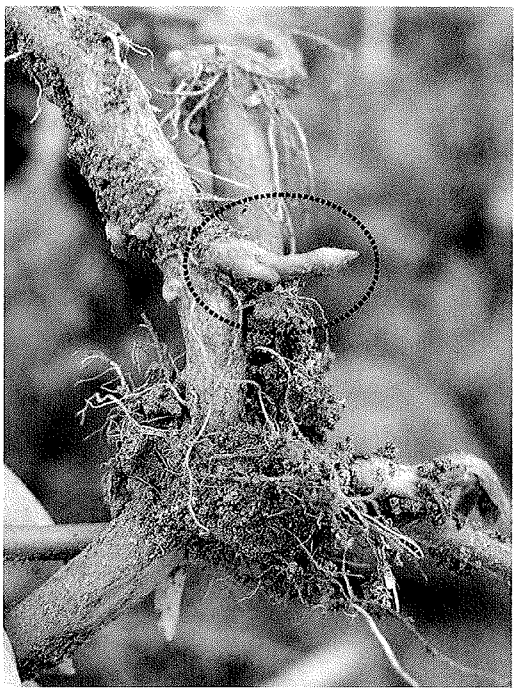
写真－8　除草剤が散布されても一部が生き残ったナガエツルノゲイトウ（2008.6.8 千葉県本埜村）

一見アメリカタカサブロウに似ているので，水田内での生育はなかなか認識されてこなかった可能性がある。印旛沼周辺の水田で記録されたのは2006年だが（佐倉印旛沼ネットワーカーの会，2008），農家への聞き取り調査では2000年頃から生育していたとの情報が得ある（自然環境研究センター，2008）。水田全域を網羅した調査は実施されていないが，これまでに図－1に示した地点で，水田内に生育するナガエツルノゲイトウが確認されている（写真－9～11）。

水田内での生育状況をみると，水が流れ込む場所を中心に繁茂している場合があり，こうした水田には水路から供給された水を通じて茎の断片が侵入したと考えられる。しかし，ナガエツルノゲイトウが繁茂している水田のすぐ隣に，全く生育が見られない水田があるなど，侵入経路や分布拡大要因は必ずしも明らかではなく，水の移動だけでは説明できない分布の拡大も起こっている。農家への聞き取り調査で，ナガエツルノゲイトウが繁茂した水田内で作業した農機具に土壌とともに付着した茎の断片が，別の水田内で作業する際に持ち込まれたことが指摘された（自然環境研究センター，2008）。稲刈り

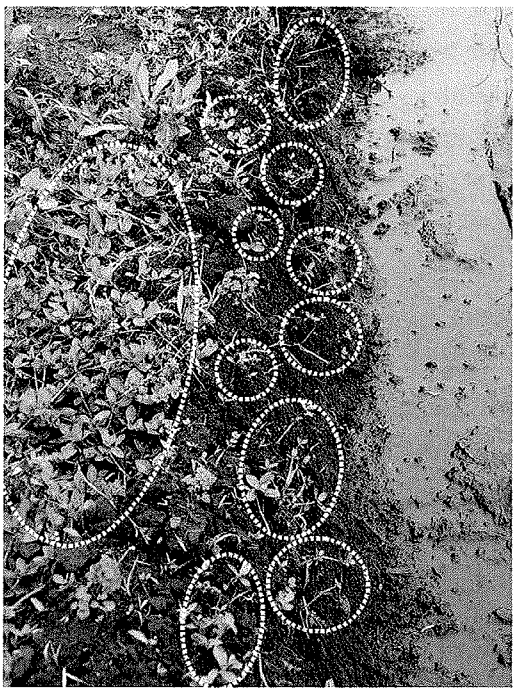
写真－9　イネと混生し開花するナガエツルノゲイトウ（2008.8.2 千葉県本埜村）

写真－10　倒伏した飼料用のイネの間から覗くナガエツルノゲイトウ
(2009.10.21 千葉県本埜村)



写真－12　耕起して数日後でも生きているナガエツルノゲイトウの根茎と芽
(2007.10.19 千葉県佐倉市)

写真－11　ナガエツルノゲイトウが広がった水田
(2009.10.21千葉県本埜村)刈り取り後に萌芽したイネの隙間が覆われていた



写真－13　畦畔上に無数にみられるナガエツルノゲイトウの芽(2008.5.4 千葉県本埜村)

が終わって乾燥した状態の水田内において，耕された後も生存している根茎と芽が確認されている（写真－12）。さらに，土壌中の根茎から発生したとみられる無数のナガエツルノゲイトウの芽が畦畔上で確認されている（写真－13）。これらのことから，土壌中のナガエツルノゲイトウが，冬の寒さや乾燥条件でも枯死することなく休眠芽として生存し続け，それらを含む土壌を運搬することで，分布の拡大を引き起こすことが示唆された。

ナガエツルノゲイトウによる農業被害の規模や経済的損失の大きさは明らかではないが，農家への聞き取り調査では，水田内に発生したナガエツルノゲイトウがイネと競合して収量の低下を引き起こしたり，コンバインが水田に入る際の障害物となったり，植物体がコンバインの網の目に詰まることにより作業効率の著しい低下を引き起こすことが指摘された（自然環境研究センター，2008）。

水田内へのナガエツルノゲイトウの侵入を防止するには，農業用機械や工事車両に付着した泥などを通じて持ち込まないことや，水路からの流入を防ぐためのオイルフェンスや網などの設置が考えられる。また畦畔から水田内に侵入する前に，徹底した防除を行うことも重要である。

農家への聞き取り調査によると，水田内部に侵入した場合でも，侵入初期の生育量が少ない段階であれば，水中の泥から抜き取ることは，手間はかかるが効果的であるとのことである。水田内部に広がってしまった場合には，残念ながら効果的な防除は難しく，長期的な対策が必要になってしまう。

8. おわりに

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定され，運搬や栽培などが禁止されたため，意図的な導入が行われることはない。また，日本では結実が確認されていないので，種子による分布の拡大や，埋土種子から再生が起こる可能性は低い。

印旛沼周辺の河川のナガエツルノゲイトウに関しては，2005年度（平成17年度）より，千葉県県土整備部河川課による駆除が実施されている。また，水路内については土地改良区や自治会などによって水路の維持管理の一つとして除去されている。

水田内へのナガエツルノゲイトウの侵入と分布拡大の防止に関しては，個々の農業関係者の肩にかかっていると言えるだろう。農業被害が起こる前の，早期発見と初期防除が効果的に行われることを願う。

謝辞

印旛沼周辺のナガエツルノゲイトウの生育状況や被害、防除の取り組みに関する情報収集にあたっては、（農）鹿島の前野千春氏、印旛沼土地改良区の高橋修氏、佐倉印旛沼ネットワーカーの会の根本明夫氏、農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターの川名義明氏、農林水産省関東農政局農村計画部資源課、その他の皆様にお世話になりました。また、海外における防除の取り組みについては神戸大学の角野康郎氏に情報を頂きました。以上の方々に心より御礼申し上げます。

参考文献

・千葉市環境局・自然環境研究センター（2009）平成20年度貴重な動植物保護事業に伴う外来生物生息状況調査委託報告書.

・Commonwealth of Australia and the

National Weeds Strategy Executive Committee (2000) Weeds of National Significance, Alligator weed (*Alternanthera philoxeroides*), Strategic Plan.National Weeds Strategy Executive Committee.
・Department of the Environment and Heritage and the CRC for Australian Weed Management (2003) Alligator weed (*Alternanthera philoxeroides*), Weeds of National Significance, Weed Management Guide. http://www.weeds.gov.au/publications/guidelines/wons/pubs/a-philoxeroides.pdf
・Environment Waikato (2007) Regional Pest Management Strategy 2008-2013 : http://www.ew.govt.nz/policy-and-plans/Regional-Pest-Management-Strategy/Regional-Pest-Management-Strategy-2008-2013/
・Holm, L., J. Doll, E. Holm, J. Pancho, J. Herberger (1997) World Weeds: Natural Histories and Distribution. 37－44. John, Wiley & Sons, Inc.
・印旛沼土地改良区 (2007) 印旛沼土地改良区基幹土地改良施設位置図. http://www.issg.org/database/species/ecology.asp?si=763&fr=1&sts=sss&lang=EN
・The Invasive Species Specialist Group (ISSG)(2006) Global Invasive Species Database, *Alternanthera philoxeroides*:
・環境省自然環境局. 外来生物法, 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律： http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html
・笠井貞夫 (2001) 印旛沼の水草の変遷. 千葉県の自然誌 本編5 千葉県の植物2 植生 県史シリーズ44, 437-448pp. 千葉県史料研究財団.
・水資源機構 (2001) 印旛沼開発事業：http://www.water.go.jp/kanto/chiba/index.html
・水田光雄 (2005)[natureplant:2344]水田に侵入したナガエツルノゲイトウ. 帰化植物メーリングリスト(natureplant@ ml.affrc.go.jp)(2005年8月6日投稿) .
・村田源 (1989) ナガエツルノゲイトウ尼ヶ崎に帰化. 植物分類・地理 40：178.
・野口英昭 (2006) 静岡県の帰化植物を追いかける. 近田文弘・清水建美・濱崎恭美「帰化植物を楽しむ」126 － 137. トンボ出版.
・大段秀記 (2005)[natureplant:2827]水田内にナガエツルノゲイトウ. 帰化植物メーリングリスト(natureplant@ml.affrc.go.jp)(2006年9月15日投稿) .
・佐倉印旛沼ネットワーカーの会　流域活動推進委員会 (2008) 印旛沼環境調査―ナガエツルノゲイトウ・オニビシの植生調査　その3―.
・佐倉印旛沼ネットワーカーの会　流域委員会 (2010) 印旛沼環境調査―ナガエツルノゲイトウ・オニビシの植生調査　その5―.
・芝山秀次郎 (1993) ミズツルノゲイトウ. 国際農林業協力協会「熱帯農業要覧 No.19　熱帯の雑草」56.
・自然環境研究センター (2008) 平成19年度外来生物対策指針策定調査業務報告書.
・杉山昇司 (2006) 侵略的外来植物の生育地モニタリング. 生きもの技術ノート No.49. ランドスケープ研究 69(4): 313.
・杉山昇司・倉本宣 (2004) 印旛沼水系における外来植物ナガエツルノゲイトウ Alternanthera

philoxeroides Mart Griseb.の分布と生育地特性. 第51回日本生態学会大会. P3-082.
・多和田真淳・池原直樹（1989）沖縄植物野外図鑑第7巻シダ植物～マメ科, 164. 新星図書出版.
・Yu, L.（2006）Response of Exotic Invasive Weed *Alternanthera philoxeroides* to Environmental Factors. NIAES international symposium 2006, evaluation and effective use of environmental resources for sustainable agriculture in monsoon asia, toward international research collaboration pp47-50, Epochal Tsukuba.
・読売新聞（2009年2月4日）琵琶湖の外来水生植物, 遮光シートで枯死・駆除作戦.

平成２２年度　水稲作関係除草剤試験判定結果

財団法人　日本植物調節剤研究協会

平成２２年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成２２年１２月９日、１０日の２日間、第一ホテル両国において、適１試験成績検討会は、これに先立ち平成２２年１０月１４日　浅草ビューホテルにて開催された。ここに、これら検討会における判定結果を報告する。

１）第一次適用性試験（適１）は、北海道地域（植調北海道試験地）、東北地域（植調古川試験地）、北陸地域（植調新潟試験地）、関東地域（植調研究所）、近畿・中国・四国地域（植調岡山倉敷試験地）、九州地域（植調福岡試験地）の全国６地域および砂壌土（植調霞ヶ浦試験地）で４０薬剤（のべ２３４点）について実施した。その判定結果は、第２表のとおりである。

２）第二次適用性試験（適２）は、のべ２，３３６剤（総点数点）であり、その内訳を第１表にまとめた。これら適２の判定結果は第３表のとおりであり、「実・継」と判定された薬剤の使用基準を後に掲載した。

第1表　平成22年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	150 剤	1,329 点	A-4 特殊雑草対象　内訳		
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	13 剤	154 点	エゾノサヤヌカグサ	9 剤	9 点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	12 剤	55 点	オモダカ	78 剤	251 点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)　のべ	280 剤	617 点	クサネム	2 剤	5 点
B　直播栽培	48 剤	180 点	クログワイ	73 剤	197 点
C　畦畔	2 剤	4 点	コウキヤガラ	51 剤	91 点
			シズイ	35 剤	35 点
			ミズアオイ	17 剤	17 点
			SU 抵抗性コナギ	2 剤	2 点
			SU 抵抗性ホタルイ	9 剤	9 点
			雑草イネ	4 剤	4 点

第2表 平成22年度 水稲関係除草剤適1試験 判定結果一覧

注)総合評価欄、中央判定欄の記号については、◎:極めて有望、○:有望、□:可能性有り、△:再検討、×:見込みなし を表す。

No.	薬剤名 ・ 剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価							中央判定 [今後の検討課題]
			北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦(砂)	
1	BCH-101-1kg 粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	BCH-100(新規):0.5% 既知化合物:2.0% 既知化合物:12.0%	○	□	□	△	○	□	○	□ 一発処理 [コナギに対する効果の確認]
2	BCH-105H-1kg 粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:3.0% ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75% ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:2.0%	□	○						○ 一発処理 [年次変動の確認]
3	BCH-105L-1kg 粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:3.0% ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51% ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾟｼｸﾛﾝ:2.0%			○	◎	○	○	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
4	HOK-1002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [北興]	既知化合物A:5.0% 既知化合物B:4.0% 既知化合物C:1.4%	□	○						□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
5	HOK-1002-1kg 粒 [北興]	既知化合物A:2.5% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:0.75%	□	○						○ 一発処理 [年次変動の確認]
6	HOK-1002(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [北興]	既知化合物A:5.0% 既知化合物B:4.0% 既知化合物C:1.0%			□	○	○	○	□	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
7	HOK-1002(L)-1kg 粒 [北興]	既知化合物A:2.5% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:0.51%			○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
8	HOK-1003 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [北興]	既知化合物A:3.0%	□	○	□	□	○	□	○	□ 体系処理(初期) [効果の確認]
9	HOK-1003-1kg 粒 [北興]	既知化合物A:1.5%	□	○	□	□	○	□	○	□ 体系処理(初期) [効果の確認]
10	HOK-1004 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [北興]	既知化合物A:a% 既知化合物B:b%	□	□	□	□	○	□	○	□ 体系処理(初期) [効果の確認]
11	HOK-1004-1kg 粒 [北興]	既知化合物A:3.0% 既知化合物B:24.0%	□	□	□	□	○	□	○	□ 体系処理(初期) [効果の確認]
12	KPP-505-1kg 粒 [科研]	既知化合物A:1.5% 既知化合物B:12.0%	○	○	○	○	○	○	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
13	KUH-101-0.25kg 粒 [クミ化]	ﾋﾟﾘﾐｽﾙﾌｧﾝ:2.0% ﾌｪﾉｷｻｽﾙﾎﾝ:8.0%	□	○	○	○	◎	○	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]

No.	薬剤名 ・ 剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦(砂)	中央判定 [今後の検討課題]
14	KUH-101-1kg 粒 [クミ化]	ﾋﾟﾘﾐｽﾙﾌｧﾝ:0.5% ﾌｪﾉｷｻｽﾙﾎﾝ:2.0%	□	○	○	□	◎	○	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
15	KUH-102-0.25kg 粒 [クミ化]	既知化合物A:a'% 既知化合物B:b'% 既知化合物C:c'%	□	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
16	KUH-102-1kg 粒 [クミ化]	既知化合物A:0.6% 既知化合物B:0.55% 既知化合物C:2.0%	□	○	○	○	○	△	□	□ 一発処理 [効果の確認]
17	KUH-103-0.25kg 粒 [クミ化]	既知化合物D:d'% 既知化合物E:e'% 既知化合物F:f'%	□	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
18	KUH-103-1kg 粒 [クミ化]	既知化合物D:3.0% 既知化合物E:0.55% 既知化合物F:0.6%	□	○	○	○	△	△	○	□ 一発処理 [効果の確認]
19	KYH-1001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [協友ｱｸﾞﾘ]	ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:4.0% ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:0.6% ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ:1.8%(w/v)				◎	□	△	□	□ 一発処理 [ノビエに対する効果の確認]
20	KYH-1001-1kg 粒 [協友ｱｸﾞﾘ]	ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:2.0% ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:0.4% ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ:0.9%				◎	□	△	□	□ 一発処理 [ノビエに対する効果の確認]
21	MIH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [三井化学]	ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ:30% ﾌﾟﾛﾋﾟﾘｽﾙﾌﾛﾝ:1.8%(w/v)		□	○	◎	◎	□	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
22	MIH-102(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [三井化学]	ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ:39.6% ﾌﾟﾛﾋﾟﾘｽﾙﾌﾛﾝ:1.8%(w/v)	◎							○ 一発処理 [年次変動の確認]
23	MIH-104-1kg 粒 [三井化学]	既知化合物A:0.18% 既知化合物B:1.8% 既知化合物C:1.0%	○	○	□	○	○	△	○	□ 体系処理(中・後期) [効果の確認]
24	NC-626 顆粒水和 [日産]	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:5% ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:3.75% ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:25% ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:25%	◎	○	○	◎	□	△	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
25	NC-627 顆粒水和 [日産]	ﾃﾌﾘﾙﾄﾘｵﾝ:37.5% ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:22.5%	□	○	△	□	○	○	△	□ 一発処理 [ノビエに対する効果、薬害の確認]
26	NC-629 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [日産]	既知化合物A:5.4% 既知化合物B:30.0% 既知化合物C:2.0%	□	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
27	NC-629-1kg 粒 [日産]	既知化合物A:3.0% 既知化合物B:15.0% 既知化合物C:1.0%	□	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]

No.	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦（砂）	中央判定 [今後の検討課題]
28	NC-630-1kg 粒 [日産]	既知化合物D:0.9% 既知化合物E:1.2%	□	○	○	○	○	□	□	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
29	NC-631 顆粒水和 [日産]	既知化合物F:25.0% 既知化合物G:25.0% 既知化合物H:7.5%	○	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
30	NC-631-1kg 粒 [日産]	既知化合物F:2.0% 既知化合物G:2.0% 既知化合物H:0.6%	○	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
31	NC-632 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [日産]	既知化合物I:25.0% 既知化合物J:5.0% 既知化合物K:2.5%	○	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
32	NC-632-1kg 粒 [日産]	既知化合物I:10.0% 既知化合物J:2.0% 既知化合物K:1.0%	○	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
33	NC-633-1kg粒 [日産]	既知化合物L:15.0% 既知化合物M:2.0% 既知化合物N:0.6%	○	○	○	○	○	○	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
34	NH-061-0.25kg 粒 [日農]	ﾋﾟﾘﾐｽﾙﾌｧﾝ:2.0% ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ:40.0%		○	○	◎	○	○	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
35	NH-1001(H) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [日農]	既知化合物A:4.0% 既知化合物B:1.4% 既知化合物C:4.0%	□	○						□ 一発処理 [効果の確認]
36	NH-1001(H)-1kg 粒 [日農]	既知化合物A:2.0% 既知化合物B:0.75% 既知化合物C:2.0%	□	□						□ 一発処理 [効果、薬害の確認]
37	SL-0701 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [石原]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ:4.2% ｶﾙﾌｪﾝﾄﾗｿﾞﾝｴﾁﾙ:1.8% ﾌﾙｾﾄｽﾙﾌﾛﾝ:0.44% ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4.0%		○	○	□	□	□	□	□ 一発処理 [ノビエ、ミズガヤツリに対する効果の確認]
38	SL-1001-1kg 粒 [石原]	既知化合物A:0.2% 既知化合物B:0.9% 既知化合物C:2.0%	○	○	□	□	□	△	□	□ 一発処理 [ノビエ、ミズガヤツリに対する効果の確認]
39	SYJ-223 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ]	既知化合物A:3.75% 既知化合物B:11.25% 既知化合物C:2.25% 既知化合物D:0.75%	□	○	○	○	○	○	□	○ 一発処理 [年次変動の確認]
40	SYJ-223-1kg 粒 [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ]	既知化合物A:1.5% 既知化合物B:4.5% 既知化合物C:0.9% 既知化合物D:0.3%	□	□	○	○	○	○	□	□ 一発処理 [効果、薬害の確認]

第3表 平成22年度 水稲関係除草剤適2試験判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1一発処理	BAH-041-1kg粒	BCH-031-1kg粒	BCH-101-1kg粒	BCH-105H-1kg粒
	BCH-032-1kg粒	BCH-033-1kg粒	BCH-105L-1kg粒	HOK-1002ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-1002ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-1002-1kg粒
	BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-1002(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-1002(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-1002(L)-1kg粒	KPP-505-1kg粒
	BCH-065Lﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-085L-1kg粒	KUH-072Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KUH-072Kﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	HOK-0605S-1kg粒	HOK-0801ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-101ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-101-0.25kg粒
	HOK-0801ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0801(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-101-1kg粒	KUH-102-1kg粒
	HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0801(L)-1kg粒	KUH-103-1kg粒	KYH-1001ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	HOK-0801-1kg粒	＊HOK-0801S-1kg粒	KYH-1001-1kg粒	MIH-102ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	HOK-221ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KPP-398(L)-1kg粒	MIH-102(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	MIH-103ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	KPP-398-1kg粒	KPP-406(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-626ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-626顆粒水和
	KPP-501(L)-1kg粒	KPP-501-1kg粒	NC-627顆粒水和	NC-629ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	KUH-021ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-041ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-629ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-629-1kg粒
	KUH-041-0.25kg粒	KUH-041-1kg粒	NC-630-1kg粒	NC-631ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊KUH-072Dｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-072D-0.25kg粒	NC-631顆粒水和	NC-631-1kg粒
	KUH-072D-1kg粒	＊KUH-072Kｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-632ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NC-632-1kg粒
	KUH-072K-0.25kg粒	KUH-072K-1kg粒	NC-633-1kg粒	NH-061ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	KUH-074ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-074-0.25kg粒	NH-061-0.25kg粒	NH-1001(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	KUH-074-1kg粒	KUH-074L-1kg粒	NH-1001(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-1001(H)-1kg粒
	＊KUH-091-1kg粒	＊MIH-101-1kg(旧S-9311-1kg粒剤)粒	SL-0701ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-1001-1kg粒
	NC-397-1kg粒	NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SYJ-223ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SYJ-223-1kg粒
	NC-606ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-606-1kg粒		
	NC-609-1kg粒	NC-617SB-1kg粒		
	NC-618-1kg粒	NC-621ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	NC-621ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-621-1kg粒		
	＊NC-626-1kg粒	NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-627-1kg粒		
	NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-061-1kg粒		
	NH-071Dｼﾞｬﾝﾎﾞ	NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	NH-071D-1kg粒	PSS(L)D粒		
	＊S-9058ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊S-9058ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊S-9058-1kg粒	＊S-9102粒		
	＊S-9421ｼﾞｬﾝﾎﾞ	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	S-9421-1kg粒	＊SB-531ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-564ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SB-564ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	SB-564-1kg粒	＊SB-596ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊SB-596-1kg粒	SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	＊SL-0601(RC)-0.5kg粒	SL-0601-1kg粒		
	SL-0602-1kg粒	＊SL-0701(RC)-0.5kg粒		
	SL-0701-1kg粒	SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		

区　分	実・継		継	
A-1一発処理　つづき	SL-4902-1kg粒	SL-4903-1kg粒		
	SL-954ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-954-0.5kg粒		
	SST-403ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SST-404-1kg粒		
	SW-043-1kg粒	SW-061-1kg粒		
	SW-062ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊SW-091-1kg粒		
	＊SYJ-156Hｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊SYJ-157Hｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SYJ-219-1kg粒	＊SYJ-222-1kg粒		
	TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-501ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	TH-501-1kg粒	TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	TH-547(Z)-1kg粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-601-1kg粒		
	HOK-0605(L)-1kg粒	KPP-398(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
A-2体系(初期)	AKD-7155ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊HOK-0901-1kg粒	KPP-2005(H) 少量ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	KPP-2008乳(EW)	KPP-314ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	MAT-159ｼﾞｬﾝﾎﾞ	NSK-850ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊SB-531ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)			
	＊SL-4901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)	SL-4901-1kg粒		
	YH-562(少量散布)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	YH-651-1kg粒		
A-3体系(中後期)	DASH-001SC	HOK-0721粒	MIH-104-1kg粒	
	HOK-0802-1kg粒	KUH-031粒		
	KUH-073-1kg粒	NC-612-1kg粒		
	NS-177粒	SL-0604-1kg粒		
	SL-0613顆粒水和	SL-0613顆粒水和(顆粒のまま)		
	SW-063-1kg粒			
A-4ｴｿﾞｻﾔ	＊BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SL-0604-1kg粒	
	＊BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	＊KUH-021-1kg粒	＊SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊SL-4902-1kg粒	＊SL-954-0.5kg粒		
A-4ｵﾓﾀﾞｶ	＊BAH-041-1kg粒	BCH-032-1kg粒	HOK-0605ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-0801ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0801-1kg粒	HOK-0802-1kg粒
	BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KPP-398-1kg粒	KPP-406(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KPP-501-1kg粒	KPP-501(L)-1kg粒
	＊BCH-085L-1kg粒	＊HOK-0605ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KUH-021-0.25kg粒	KUH-041ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊HOK-0605(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0721粒	KUH-041-0.25kg粒	KUH-072D-1kg粒
	＊HOK-0801ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0801(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-072K-1kg粒	KUH-074ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊HOK-0801(L)-1kg粒	KUH-074-0.25kg粒	KUH-074-1kg粒
	＊KPP-398(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊KPP-398(L)-1kg粒	KUH-104-1kg粒	NC-606ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊KPP-398ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊KUH-073-1kg粒	NC-626-1kg粒	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊NC-609-1kg粒	NC-617SB-1kg粒	S-9421-1kg粒	SB-596ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	NC-618-1kg粒	＊NC-621-1kg粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	
	＊NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	＊NC-627-1kg粒	＊NH-051(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ		

区　分	実・継		継	
A-4オモダカ　つづき	NH-071Dジャンボ	NH-071Dフロアブル		
	NH-071D-1kg粒	＊NJM-754粒		
	SB-556フロアブル	＊SB-556-1kg粒		
	SL-0602-1kg粒	SL-0613顆粒水和		
	SL-0701-1kg粒	＊SL-4901-1kg粒		
	＊SL-4903-1kg粒	＊SST-402-1kg粒		
	SST-404ジャンボ	SW-043-1kg粒		
	SW-051-1kg粒	＊SW-052ジャンボ		
	＊SW-061-1kg粒	＊SW-062フロアブル		
	＊TH-501ジャンボ	TH-501フロアブル		
	TH-501-1kg粒	＊TH-601フロアブル		
	＊TH-601-1kg粒	YH-650フロアブル		
	YH-650-1kg粒	BCH-031-1kg粒		
	＊HOK-0301フロアブル			
A-4クサネム	＊BCH-031-1kg粒	＊YH-650-1kg粒		
A-4クログワイ	＊BAH-041-1kg粒	BCH-032-1kg粒	HOK-0801(L)ジャンボ	HOK-0801(L)フロアブル
	BCH-033-1kg粒	＊BCH-051ジャンボ	HOK-0801(L)-1kg粒	HOK-0802-1kg粒
	＊BCH-051フロアブル	BCH-052フロアブル	KPP-314フロアブル	KPP-501(L)-1kg粒
	BCH-053フロアブル	＊BCH-062ジャンボ	KPP-501-1kg粒	KUH-041ジャンボ
	＊BCH-063ジャンボ	＊BCH-085L-1kg粒	KUH-072D-1kg粒	KUH-072K-1kg粒
	DASH-001SC	＊HOK-0605ジャンボ	KUH-074ジャンボ	KUH-074-0.25kg粒
	＊HOK-0605フロアブル	＊HOK-0605-1kg粒	KUH-074-1kg粒	KUH-104-1kg粒
	＊HOK-0605(L)フロアブル	＊HOK-0721粒	NC-626-1kg粒	S-9421フロアブル
	＊HOK-0801ジャンボ	＊HOK-0801フロアブル	S-9421-1kg粒	SB-596フロアブル
	＊HOK-0801-1kg粒	KPP-398(L)フロアブル	TH-601ジャンボ	
	＊KPP-398(L)-1kg粒	＊KPP-398フロアブル		
	＊KPP-398-1kg粒	＊KPP-406(L)フロアブル		
	KUH-073-1kg粒	NC-385SB顆粒水和		
	NC-604-1kg粒	＊NC-606フロアブル		
	＊NC-609-1kg粒	NC-617SB-1kg粒		
	NC-618-1kg粒	＊NC-621-1kg粒		
	＊NH-051(H)ジャンボ	NH-071Dジャンボ		
	NH-071Dフロアブル	NH-071D-1kg粒		
	SL-0602-1kg粒	SL-0613顆粒水和		
	SL-0701-1kg粒	＊SL-4903-1kg粒		
	SST-403フロアブル	SST-403-1kg粒		
	SW-043-1kg粒	SW-051-1kg粒		
	＊SW-052ジャンボ	＊SW-061-1kg粒		
	＊SW-062フロアブル	＊TH-501ジャンボ		
	TH-501フロアブル	＊TH-501-1kg粒		
	＊TH-601フロアブル	＊TH-601-1kg粒		
	＊YH-650-1kg粒	＊HOK-222-1kg粒		

区　分	実・継		継	
A-4ｺｳｷﾔｶﾞﾗ	* BAH-041-1kg粒	* BCH-031-1kg粒	BCH-032-1kg粒	BCH-033-1kg粒
	DASH-001SC	* KPP-398(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KPP-314ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* KPP-398(L)-1kg粒	* KUH-074-1kg粒	KPP-406(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KPP-501(L)-1kg粒
	* NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* NH-051(H)-1kg粒	KUH-021-0.25kg粒	KUH-074ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	* NH-061-1kg粒	* NH-071Dｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-104-1kg粒	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* NH-071D-1kg粒	S-9421-1kg粒	SL-4901-1kg粒
	SL-0401-1kg粒	SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SW-063-1kg粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	SL-0601-1kg粒	SL-0602-1kg粒	YH-652ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	YH-652-1kg粒
	SL-0604-1kg粒	SL-0701-1kg粒		
	* SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* SL-4902-1kg粒		
	* SL-4903-1kg粒	SST-403ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	SST-403ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SST-403-1kg粒		
	SST-404ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SW-051-1kg粒		
	* TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ	* TH-501-1kg粒		
	TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	TH-547(Z)-1kg粒	* TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	* TH-601-1kg粒	YH-650ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	* YH-650-1kg粒			
A-4ｼｽﾞｲ	* BCH-032-1kg粒	* KPP-398ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	BAH-041-1kg粒	KPP-398-1kg粒
	* KUH-031粒	* NC-604ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-073-1kg粒	KUH-104-1kg粒
	* NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ	* NC-609-1kg粒	NC-606ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NC-606-1kg粒
	* NC-617SB-1kg粒	* NC-618-1kg粒	NC-621-1kg粒	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* NH-051(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ	* NH-061-1kg粒	SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-0604-1kg粒
	* SL-0601-1kg粒	* SL-0602-1kg粒	SL-0701-1kg粒	SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* SL-0613顆粒水和	* SST-404ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-4902-1kg粒	SL-4903-1kg粒
	* TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ		SST-403-1kg粒	TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ
			TH-501-1kg粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ
			TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-601-1kg粒
A-4ﾐｽﾞｱｵｲ	* BCH-031-1kg粒	* BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BAH-041-1kg粒	S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ	* KUH-041-1kg粒	S-9421-1kg粒	SL-0604-1kg粒
	* NC-609-1kg粒	* NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	* NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* NC-627-1kg粒		
	* SL-954-0.5kg粒	* SW-043-1kg粒		
	* SW-062ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ		
	* TH-601-1kg粒			
A-4SURｺﾅｷﾞ	* SL-0602-1kg粒		BAH-041-1kg粒	
A-4SURﾎﾀﾙｲ	* BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ	* BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BAH-041-1kg粒	SL-4903-1kg粒
	* NC-609-1kg粒	* NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
	* NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* NC-627-1kg粒		
	* SL-954-0.5kg粒			
A-4雑草ｲﾈ	* HOK-0301-1kg粒	* NSK-850ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SYJ-167-1kg粒	
	* SL-498-1kg粒			
B直播栽培	* BCH-065Lﾌﾛｱﾌﾞﾙ	* BCH-085L-1kg粒	BAG-032ｼﾞｬﾝﾎﾞ	BCH-032-1kg粒
	* HOK-0605(L)-1kg粒	* HOK-0605-1kg粒	BCH-033-1kg粒	HOK-0605(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	* HOK-0605S-1kg粒	* KUH-074-1kg粒	HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	HOK-0801(L)-1kg粒

区　分	実・継		継	
B直播栽培　つづき	NBA-101SBｼﾞｬﾝﾎﾞ	＊NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ	HOK-0801-1kg粒	NC-627顆粒水和
	NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊NH-061-1kg粒	NC-627-1kg粒	SB-564ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊NH-071D-1kg粒	SB-564-1kg粒	SL-0601(RC)-0.5kg粒
	SL-0601-1kg粒	＊SST-404ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SL-0701(RC)-0.5kg粒	SL-0701-1kg粒
	SST-404ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SST-404-1kg粒	SW-052ｼﾞｬﾝﾎﾞ	SYJ-156-1kg粒
	＊SW-062ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊SYJ-157-1kg粒	TH-501-1kg粒	TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ
	＊SL-4901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	＊SL-4901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)	TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	TH-547(Z)-1kg粒
	＊SL-4901-1kg粒	BAS-3510(Na)粒	TH-601ｼﾞｬﾝﾎﾞ	TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊HOK-0721粒	＊KUH-073-1kg粒	TH-601-1kg粒	BCH-031-1kg粒
	NC-612-1kg粒	SL-0401-1kg粒	JC-940粒	YH-650ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
	＊SL-0613顆粒水和	＊SW-063-1kg粒	YH-650-1kg粒	
	KUH-911液	＊S-9146-1kg粒		
C畦畔			SB-211ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	SB-212ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

注):1)本年度新規に使用基準が作成されたものは、薬剤名に「＊」を記した。
　　2)本年度は「実」,「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成22年度 水稲関係除草剤使用基準一覧表

A 移植栽培

A-1 一発処理

A-1 1

BAH-041-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		●前～始	○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●始※		○発生期						○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～始	●前～始	○発生期		○前				●	○
関東・東海	○1.5	○	○始2		○始	○始	●始※	●前～始※	○発生期		○前				●	○
近・中・四	○1.5	○	○始2		○始	○始		●始	○発生期		○前				○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期			コウキヤガラ:始			●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 2

BCH-031-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		クサネム:本葉2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	○始	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		クサネム:本葉2L			○	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	●発生期	○再生前～始		クサネム:本葉2L	+5～ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ2.5L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(東北,関東・東海)。
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する(北海道,北陸,近・中・四,九州)。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 3

BCH-032-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:2L SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始※	●始	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L(砂~~壌土は2.5Lまで~~)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　4

BCH-033-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土〜埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前〜始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5〜ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前〜始			+5〜ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前〜始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始	○発生期	○再生前〜始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前〜始					○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	●始※	○始※	○発生期	○再生前〜始					○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道)
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　5

BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土〜埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●前〜始※	○発生期	○再生前〜始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+5〜ノビエ2.5L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●前〜始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前〜始	●始※	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前〜始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前〜始					○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する(北海道，東北，関東・東海，近・中・四，九州)。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(北陸)。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する(北陸，近・中・四)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(関東・東海，九州)。

A-1　　6

BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土〜埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始※	○発生期	○再生前〜始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+5〜ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前〜始※	●前〜始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
北陸	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期				+5〜ノビエ~~2.5L~~ 3L		○	○
関東・東海	○~~2.5~~ 3	○	○~~2~~ 3		○2	○2	●始※	●前〜始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
近・中・四	○~~2.5~~ 3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前〜始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前〜始			+5〜ノビエ2.5L		○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する(北海道，東北，関東・東海，近・中・四，九州)。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(北陸)。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する(東北，北陸，近・中・四)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(関東・東海，九州)。

A-1 7

BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	●始	●始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○**	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	●始	●始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: **:散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。
*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 8

BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。
薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 9

BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始※	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ2.5L	40g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　10

BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●前～始※	○発生期	○再生前～始		ｴｺﾝﾌﾞﾓﾔｽｶﾞﾀ:2L ｼｽﾃﾞｱｲ:1L SU拡抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　11

BCH-065Lﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　12

BCH-085L-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	●前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　17

HOK-0605S-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　・　18

HOK-0801ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●前～始※		○発生期	○再生前～始					●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　19

HOK-0801フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●前～始※	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　20

HOK-0801(L)ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　21

HOK-0801(L)フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　22

HOK-0801(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○始	○2		●前～始※	○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　23

HOK-0801-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1　　24

HOK-0801S-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始				●再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)					●
近・中・四　(晉)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　31

HOK-221ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2L (砂壌土は+1～)		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　32

KPP-398(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前始	●前～始	●始	●発生期	○再生前～始	●前(藻類)		+0～ノビエ1.5L	1kg		○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始		●前～始※	○発生期	○再生前～始	●前	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始	○前	○始	○始			●発生期	○再生前～始	●前(藻類)	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　33

KPP-398-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
東北	○1.5	○	○始	○前	○始	○始	●前～始※		○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　34

KPP-406(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2 2.5	○	○2		○2	○始 2	●前～始※		○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ~~2L~~ 2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ~~2L~~ 2.5L		○	○
九州	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前					○

~~全面散布(北陸)~~
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　35

KPP-501(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	●前/(藻類)		+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	●前/(藻類)				●	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前/(藻類)				●	○

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　36

KPP-501-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	1kg	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1　38

KUH-021ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	25g×10コ		●
東北	○3	○	○2	○始2	○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四 (岩)	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始						○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　39

KUH-041ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○始2	○始			●発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四 (岩)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前/(藻類)				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前/(藻類)				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　40

KUH-041-0.25kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	●再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四　(普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○

湛水周縁部散布可能(北海道～九州)

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　41

KUH-041-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:始	+0～ノビエ3L(砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始	+0+3～ノビエ3L(砂壌土は+3～)		○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始	+0+3～ノビエ3L(早期および砂壌土は+3～)		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　42

KUH-072Dジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●2.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　44

KUH-072D-0.25kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始2	○始			○発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	●	○
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)					●

湛水周縁部散布可能(北陸～九州)

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　45

KUH-072D-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			●発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (畑)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始						○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国，九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　46

KUH-072Kジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1　　48

KUH-072K-0.25kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(北海道，東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　　49

KUH-072K-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)

A-1　　50

KUH-074ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　51

KUH-074-0.25kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2.5L	250g		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)					○

湛水周縁部散布可能(北海道～北陸，近畿・中国・四国，九州)

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　52

KUH-074-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)	コウキヤガラ:始			○	○

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸，九州)
移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラは有効な後処理剤との組み見合わせで使用する。

A-1　　53

KUH-074L-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L	1kg	●	○
東北	○2	○	○2	○2	○始 2	○始			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○~~1.5~~ 2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ~~1.5L~~ 2L		●	○

田植同時散布可能

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　54

KUH-091-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●2	●3	●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四　(晉)	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　62

MIH-101-1kg 粒(IBS-9311-1kg 粒)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3	●3	●3	●始			●発生期							●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●*	●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期							●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
*:浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　67

NC-397-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ1.5L	1kg		○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前				○再生前～始			+0～ノビエ1.5L(砂壌土は+3～)		○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
近・中・四　(晉)	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1　　68

NC-606ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	30g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+3+5～ノビエ2.5L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 69

NC-606フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始	○始				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○始	●始※		○発生期		○始				○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 70

NC-606-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○始	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始※		○再生前～始	○始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○始		+3~~+5~~～ノビエ2.5L	1kg	○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1 71

NC-609-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L SU抵抗性ホタルイ:1L	+0～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:茎太3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L~~(砂壌土は+3～)~~		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○3		○~~2~~ 3	○~~2~~ 3	●始	●始	○発生期	○再生前～始	●前				●	○
九州	○~~2.5~~ 3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ~~2.5L~~3L	1kg		○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1　　72

NC-617SB-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○3	○3		○3		○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○3	●始～草丈10cm※	●始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm				○
北陸	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm	●始～矢じり葉1L							○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	●始～草丈10cm	●始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○4	○草丈10cm	○広線形葉～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ4L			○
九州	○4	○	○4		○4	○4	●始～草丈10cm	○始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(東北,北陸,関東・東海)。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(関東・東海,九州)。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1　　73

NC-618-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○4		○3		○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○3.5	○	○3	○3	○4	○3	●始～草丈10cm※	●始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ3.5L			○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈10cm	●始～矢じり葉1L	○発生期							○
関東・東海	○4	○	○4		○3	○3	●始～草丈10cm	●始～矢じり葉1L	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L		○	○
近・中・四	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○始～矢じり1L	○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ4L			○
九州	○4	○	○4		○4	○4	●始～草丈10cm	○始～矢じり1L※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
深水条件では薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する(東北～関東・東海)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1　　74

NC-621ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	40g×10コ		○
東北	○3	○	○3	○2	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3	○前	○4	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　75

NC-621ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ﾉﾋﾞｴ3L	500ml		○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3	○前	○3	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　76

NC-621-1kg粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●始	○発生期	○再生前～始			+5～ﾉﾋﾞｴ3L	1kg	●	○
東北	○3	○	○2	○2	○3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	●前	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○*	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　*：散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,近・中・四,九州)

A-1　　79

NC-626-1kg粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始			+0～ﾉﾋﾞｴ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)				●	●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)				●	●
九州　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

田植同時散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　80

NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始		ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ﾉﾋﾞｴ2.5L	30g×10ｺ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　81

NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始		ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始2	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					●*	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

水口処理可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　83

NC-627-1kg粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始		ﾐｽﾞｱｵｲ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始2	○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　94

NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｼｽﾞｲ:草丈3cm ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
水口処理可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ・シズイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　97

NH-061-1kg粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	●3	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 98

NH-071Dｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 99

NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	●前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

田植同時散布可能

水口処理可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 100

NH-071D-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 104

PSS(L)D粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2	○	○2	○始	○2	○2			○発生期		○始		+0～ノビエ2L	3kg	○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○2					○始				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○始				○	○
近・中・四	○2	○	○2	○2	○始	○2			○発生期		○始				○	○
九州	○2	○	○2		○始	○2			○発生期						○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　105

S-9058ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	40g×10コ		●
東北	●3	●	●3	●3	●2	●2			●発生期						●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●2		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　106

S-9058ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	500ml		●
東北	●3	●	●3	●3	●2	●2			●発生期						●	●
北陸	●3	●	●3		●2	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　107

S-9058-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	1kg		●
東北	●3	●	●3	●3	●2	●2			●発生期						●	●
北陸																
関東・東海	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L	1kg		●
近・中・四	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　108

S-9102粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2L	3kg		●
近・中・四　(暖)	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 109

S-9421ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期				+5～ノビエ3L	20g×10ｺ		●
東北	●3	●	●2	●2	●3	●2			●発生期						●	●
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期							●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 110

S-9421ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3	○~~2~~ 3		○2			○発生期				+5～ノビエ~~2,5L~~ 3L	500ml		○
東北	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3	○2	○~~2~~ 3	○~~始~~ 2			○発生期						●	○
北陸	○~~2,5~~ 3	○	○2		○2	○~~始~~ 2			○発生期	○再生前～始						○
関東・東海	○~~2,5~~ 3	○	○2		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3		○~~2~~ 3	○~~2~~ 3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○~~2,5~~ 3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 111

S-9421-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3	○~~2~~ 3		○2			○発生期				+5～ノビエ~~2,5L~~ 3L	1kg		○
東北	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3	○~~2~~ 3	○~~2~~ 3	○~~始~~ 2			○発生期						●	○
北陸	○~~2,5~~ 3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
関東・東海	○~~2,5~~ 3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四	○~~2,5~~ 3	○	○~~2~~ 3		○2	○~~2~~ 3			○発生期	○再生前～始					●	○
九州	○~~2,5~~ 3	○	○3		○3	○3			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 112

SB-531ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●始					●発生期				+0～ノビエ2L	500ml		●
東北	●2	●	●2	●2	●2				●発生期							●
北陸	●2	●	●2		●始											●
関東・東海	●2	●	●2		●2				●発生期							●
近・中・四 (普)	●2	●	●2		●2				●発生期							●
九州	●2	●	●2		●始				●発生期							●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　114

SB-564ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+3～ノビエ2L	30g×10コ	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期				+0*3～ノビエ2L		○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始2	○始2			○発生期				+0*3～ノビエ2L (砂壌土は+3～)		○	○
九州	○2	○	○2	○始	○2	○2		○始※	○発生期				+3～ノビエ2L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　115

SB-564フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2L (砂壌土は+3～)	500ml	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+0*3～ノビエ2L (砂壌土は+3～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　116

SB-564-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○2		○始			○発生期			ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2L (砂壌土は+3～)	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期			シズイ:草丈3cm	+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期			コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○始	○始	○始		○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+0*3～ノビエ2L (砂壌土は+3～)		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　117

SB-596フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期				+3～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期						●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期						●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期						●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　118

SB-596-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期				+3～ノビエ2.5L	1kg		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期						●	●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始										●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
九州	●2.5	●	●3		●2	●2			●発生期							●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　119

SL-0601ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4		○3	○草丈10cm	○始※	○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	50g×10コ	○	○
北陸	○4	○	○4			○2	○草丈10cm	○始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：始			○	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○始	○発生期	○再生前～始			~~+5~~+7～ノビエ4L（砂壌土は+7～）		○	○
九州	○4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：始	+7～ノビエ4L		○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　120

SL-0601(RC)-0.5kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●3	●2		●3			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L	500g	●	●
北陸	●4	●	●3			●2			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L（砂壌土は3Lま		●	●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

均一散布
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1　　121

SL-0601-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4		○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：始 ｼｽﾞｲ：草丈3cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○3			○2	○草丈10cm	○矢じり葉抽出	○発生期						○	○
関東・東海	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：始 SU抵抗性ﾏﾂﾊﾞｲ：3L			○	○
近・中・四	○4	○	○4			○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出	○発生期	○再生前～始			~~+5~~+7～ノビエ4L（砂壌土は+7～）		○	○
九州	○4	○	○4			○4			○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：始	+7～ノビエ4L		○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　　122

SL-0602-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○3	○4	○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 草丈20cm以下 シズイ:草丈3cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:~~始～草丈20cm~~ 草丈20cm以下 SU抵抗性コナギ:3L			○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:生育期(草丈20cm以下)	+5~~+7~~～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4		○4	○4	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:~~始～草丈20cm~~ 草丈20cm以下	+7～ノビエ4L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　　124

SL-0701(RC)-0.5kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●2	●2		●3			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L	500g	●	●
北陸	●4	●	●3		●2	●2			●発生期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

均一散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1　　　125

SL-0701-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○3	○3		○3			○発生期	○再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg		○
東北	○4	○	○4	○4	●2	○3		●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○4	○	○4		○2	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○4	○	○4		○2	○3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○4	○	○4		○2	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期	○再生前～始			+5~~+7~~～ノビエ4L(砂壌土は+7～)		○	○
九州	○4	○	○4		○3	○3	●草丈10cm※	●矢じり葉抽出前※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+7～ノビエ4L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　　127

SL-4902フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期						○	○
北陸	○~~2~~ 2.5	○	○2		○~~始~~ 2	○始			○発生期				+3～ノビエ~~2L~~ 2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前		+3～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四　~~(普)~~	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		●前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	コウキヤガラ:始				○

~~全面散布(北陸，関東・東海)~~
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-1 128

SL-4902-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ2L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始 2	○始 2			○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期				+3～ノビエ2L 2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期			コウキヤガラ:始	+3～ノビエ2.5L		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-1 129

SL-4903-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L (砂壌土は2Lまで)	1kg	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●前～始※	○発生期				+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●前～始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始				○

※:オモダカ・クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 130

SL-954ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○2			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L, SU抵抗性ホタルイ:2L	+3～ノビエ2L	50g×10コ	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期			SU抵抗性コナギ:2L, SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前		+3～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	コウキヤガラ:発生始	+3～ノビエ2.5L (砂壌土は2Lまで)		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1 131

SL-954-0.5kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L, シズイ:4L SU抵抗性ホタルイ:2L	+3～ノビエ2L	500g	●	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(北海道)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1　　132

SST-403ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	40g×10ｺ	○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四　(暖)	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　133

SST-404-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L ﾐｽﾞﾌｫｲ:2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始 2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始 ｼﾝｽｲ:葉丈3cm SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始 SU抵抗性ｺｱｷﾞ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:始			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　134

SW-043-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期		○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期		○前	ﾐｽﾞﾌｫｲ:1L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始	○始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　135

SW-061-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●前～始※	●前～始※	○発生期				+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～始	●前～始							○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		●前/(藻類)				●*	○
近・中・四　(暖)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　*:浅植え。植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　136

SW-0627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●前～始	○発生期			ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	●前～始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●前～始	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前～始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期						○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　137

SW-091-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L (砂壌土は1Lまで)		●	●
北陸	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L			●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期							●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期							●
九州	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期							●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　139

SYJ-156Hｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●3	●3		●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	50g×10ｺ		●
東北	●3	●	●3	●3	●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　　140

SYJ-157Hｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ3L	50g×10ｺ		●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前(藻類)					●
近・中・四　(普)	●3	●	●3		●2	●3			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　141

SYJ-219-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ2L	1kg	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						●	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　142

SYJ-222-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●4	●	●4	●3	●4	●3			●発生期	●再生前～始			+7～ノビエ4L	1kg	●	●
北陸	●4	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
関東・東海	●4	●	●3		●2	●3			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(晉)	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始						●
九州	●4	●	●4		●4	●4			●発生期	●再生前～始						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　145

TH-501ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L	40g×10コ	●	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○*	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2		●始	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
九州	○~~2,5~~3	○	○2 3		○2 3	○2 3			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ~~2,5L~~3L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　146

TH-501プロプル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤツヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+5～ノビエ3L	500ml	●*	○
東北	○3	○	○2	○2 3	○2 3	○始		○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生期	○再生前～始					○*	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始	○始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○~~2,5~~3	○	○2 3		○2 3	○2 3			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始	+5～ノビエ~~2,5L~~3L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　*:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 147

TH-501-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	薬類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始	○発生期	○再生前～始		ミズアオイ:1L エゾノギヤマスゲ:2L	+5～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	○3	○	○2 3	○2 3	○2 3	○始 2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始			+0+5～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○*	○
関東・東海	○3	○	○2 3		○2 3	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L		○	○
九州	○2.5 3	○	○2 3		○2 3	○2 3	●始※	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L 3L		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: *:浅植え, 植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 148

TH-547(Z)フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	薬類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤマスゲ:2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:基丈3cm コウキヤガラ:始			○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 149

TH-547(Z)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	薬類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		エゾノギヤマスゲ:2L	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2 3	○2 3	○2 3	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm	+0+5～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2 3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始	+5～ノビエ3L		○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 150

TH-601ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	薬類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	20g×10コ	●	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L		●	○
近・中・四 (芝)	○2.5	○	○2		○始 2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2 2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2L 2.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に薬類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　　151

TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始		ﾐｽﾞﾌｫｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始	+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　152

TH-601-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始	○発生期	○再生前～始		ﾐｽﾞﾌｫｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前(藻類)	ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　153

HOK-0605(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○前始	○始	○始		○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え，植付け精度不良等で薬害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1　　154

KPP-398(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前始	○始		○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○1.5	○	○始		○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2 体系(初期)

A-2 1

AKD-7155ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始							○始		+0～ﾉﾋﾞｴ1L	500ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始						○始		植代後～-4,+0～ﾉﾋﾞｴ1L		○	○
北陸	○1	○	○前		○前						○前				○	○
関東・東海	○1	○	○始		○前						○始				○	○
近・中・四	○1	○	○始		○前始						○前				○	○
九州	○1	○	○始		○始						○始				○	○

水口処理可能
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 2

HOK-0901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始										+0～ﾉﾋﾞｴ1L	500ml		●
東北	●1	●	●始										植代後～-4,+0～ﾉﾋﾞｴ1L		●	●
北陸	●1	●	●始												●	●
関東・東海	●1	●	●前													●
近・中・四 (晉)	●1	●	●始													●
九州	●1	●	●始													●

田植同時散布可能
一発処理剤型除草剤の前処理剤として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 3

HOK-0901-1kg粒

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始										+0～ﾉﾋﾞｴ1L	1kg		●
東北	●1	●	●始										植代後～-4,+0～ﾉﾋﾞｴ1L		●	●
北陸	●1	●	●始												●	●
関東・東海	●1	●	●前													●
近・中・四 (晉)	●1	●	●始													●
九州	●1	●	●始													●

田植同時散布可能
一発処理剤型除草剤の前処理剤として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 4

KPP-2005(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)

地域名	ﾉﾋﾞｴ	一年生広葉・ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾍﾗｵﾓﾀﾞｶ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	ｸﾛｸﾞﾜｲ	ｵﾓﾀﾞｶ	ﾋﾙﾑｼﾛ	ｾﾘ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										+0～+5(ﾉﾋﾞｴ1L)	300ml	○	○
東北	○1	○	○始		○前		○前※						植代後～-4,+0～+5(ﾉﾋﾞｴ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※					ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:発生時			○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
九州	○1	○	○始		○始		○前※					ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:発生始			○	○

田植同時散布可能
※クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　　5

KPP-2008乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ミズアオイ:始	+0～+5(ノビエ1L)	500ml	○	○
東北	○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生約	植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生約 SU抵抗性コナギ:始			○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
九州	○1	○	○始		○始		○前※					コウキヤガラ:発生約			○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
イネに付着すると軽微な薬害を生じることがある。
クログワイ・SU抵抗性コナギ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　　6

KPP-314フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1	○	○始	○始									植代時～-4,+0～ノビエ1L	500ml	●	○
北陸	○1	○	○前												○	○
関東・東海	○1	○	○始										植代時,植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
近・中・四　(普)	○1	○	●始												○	○
九州	○1	○	●始													○

田植同時散布可能
~~土壌混和処理(混和時水深3～5cm、混和深2～3cm)~~　植代時は植代直後湛水処理(水深3～5cm、土壌混和はしない)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の高温により褐変・流れ葉などの薬害症状が助長され、強い生育抑制につながることがある。(九州)
深水条件では薬害を生じることがある。

A-2　　7

MAT-159ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+1～ノビエ1L	50g×10コ	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前		○前※						植代後～-4,+1～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始		○前		○前								○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※								○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		○前								○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

水口処理可能　(水口処理は入水時間が1時間を超える水田で使用する)
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　　8

NSK-850フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)	500ml	○	○
東北	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○													○	○
関東・東海	○1	○										雑草イネ:始			○	○
近・中・四	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		○	○
九州	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2 9

SB-531フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始									+0～ノビエ1.5L	300mL		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始										●	●
北陸	●1.5	●	●始		●始										●	●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始											●
近・中・四 (普)	●1.5	●	●始		●始										●	●
九州	●1.5	●	●始		●始											●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 10

SL-4901フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始									+0～ノビエ1L	500ml		●
東北	○1	○	○始	○前	○始	○前			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始		○始	○始			○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		●	○
関東・東海	●1	●	●始		●始	●始			●発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L			●
近・中・四 (普)	●1	●	●始		●始	●始			●発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		●	●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 11

SL-4901フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	●1	●	●始	●始	●始	●始			●発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L	300ml	●	●
北陸	●1	●	●始		●前	●前							+0～ノビエ1L		●	●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 12

SL-4901-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○1	○	○始		○始	○前		●前～始	○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1L	1kg	○	○
北陸	○1	○	○前		○前	○前		●始	○発生前						○	○
関東・東海	●1	●	●始		●始	●始			●発生期							●
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　　13

YH-562フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前							○前		+0～ノビエ1L	300ml	○	○
東北	○1	○	○始	○始									植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○	○始												○	○
関東・東海	○1	○	○始								○前				○	○
近・中・四																
九州	〃															

田植同時散布可能
一発処理剤型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能(北海道～関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2　　14

YH-651-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※		○発生期				植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	○前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	○前※	○発生期			ｺｳｷｬｶﾞﾗ:発生始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	○前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	○前※	○前※	○発生期						○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。オモダカ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　体系(中後期)

A-3　　1

DASH-001SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○花茎抽出始	○5		○4			○生育期	○生育期			+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)	100ml(散布液量100L)	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○4	○4	○草丈20cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		ｼｽﾞｲ:生育期(20cm以下)			○	○
北陸	○5	○	○花茎抽出始		○4	○5	○草丈30cm	○草丈30cm	○生育期	○生育期					○	○
関東・東海	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm※	○草丈30cm※	○生育期	○生育期		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:草丈20cm	+25～+40(イネ5L,イネ6L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
近・中・四	○5	○	○花茎抽出始		○5	○5	○草丈30cm	○草丈30cm		○生育期		ｸﾜｶﾞﾗﾑ:生育期(草丈20cm以下) ｺｳｷｬｶﾞﾗ:生育期(草丈20cm以下)	+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6	●生育期(草丈30cm以下)※		○生育期	○生育期		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:生育期(草丈20cm以下)	+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　前処理剤との組合せで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　　2

HOK-0721粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5															
東北	○5	○	○5	○5	○5	○4	●生育期(草丈20cm以下)※		○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)	3kg	○	○
北陸	○4 5	○	○5		○5	○4	●生育期(草丈20cm以下)	●矢じり葉抽出前～矢じり葉1L	○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ4L5Lまで)		○	○
関東・東海	○4 5	○	○5		○5	○5		●矢じり葉抽出前～矢じり葉1L※	○生育期						○	○
近・中・四	○5	○	○5		○5	○4		●矢じり葉抽出前～矢じり葉1L	○生育期				+20～+40(イネ5L以降,ノビエ5Lまで)		○	○
九州	○5	○	○5		○5	○5	●生育期(草丈30cm以下)※	●矢じり葉抽出前～矢じり葉1L※	○生育期							○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　　3

HOK-0802-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○3			○発生期		○始		+15～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	●	○
北陸	●3.5	●	●3		●3	●2			●発生期	●再生前～始	●始				●	●
関東・東海	○3.5	○	○3		○2	○3			○生育期						●	○
近・中・四　(曾)	○3.5	○	○3		○3	○3			○発生期						○	○
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。

A-3　　4

KUH-031粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○3		○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期※					+15～+35(ノビエ4Lまで)	3kg	○	○
東北	○4	○	○4	○4	○3	○3	○草丈15cm※	○発生盛期～矢尻葉抽出期※				シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○4		○発生盛期～矢尻葉抽出期※							○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○4	○草丈15cm※	○発生盛期～矢尻葉抽出期※							○	○
近・中・四	○4	○	○4		○4	○3	○草丈15cm※	○発生盛期～矢尻葉抽出期※							○	○
九州	○4	○	○4		○4	○4	○草丈15cm※	○発生盛期～矢尻葉抽出期※							○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な前処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　ごく浅水で散布し、2日間は入水しない。
散布後に降雨等で湛水されると効果が低下することがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　5

KUH-073-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○3	○3		○3			○発生期		○始		+20～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○3	○2	○3	○2	○始※	●始～広線形葉4L※	○発生期		○始		+20～+35(イネ5L以降, ノビエ3.5Lまで)		○	○
北陸	○3.5	○	○3		○2	○2	○始		○発生期		○始				○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3		●始～広線形葉4L※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○始		○発生期		○前				○	○
九州　(早)	○3.5	○	○3	○2	○4	○4	○始※		○発生期				+20～+35(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)			○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　7

NC-612-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3.5	○	○4	○3		○4		○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始		+15～+35(ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○2	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm シズイ:生育期(草丈30cm以下)			○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	イボクサ:生育期(茎長20cm以下) 5L抵抗性ホタルイ:3L 5L抵抗性ホタルイ:2L コウキヤガラ:草丈30cm クサネム:草丈20cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	クサネム:草丈20cm コウキヤガラ:草丈30cm			○	○
九州	○3.5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○生育期(矢尻葉3Lまで)※	○発生期	○再生前～始	○始	コウキヤガラ:草丈30cm			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　イネ4L未満では、薬害を生じることがある(関東・東海)
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　8

NS-177粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○始	エゾノサヤヌカグサ:2L	+20～+25(イネ5L以降, ノビエ2.5Lまで)	3kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※		○発生期		○始	シズイ:草丈5cm				○
北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○* ※			○始				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※			○前		+20～+25(イネ5L以降, ノビエ2Lまで)		○	○
近・中・四　(管)	○2 2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※			○始		+20～~~+25~~+30(イネ5L以降,ノビエ~~2L~~2.5Lまで)		○	○
九州																

*:発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　散布後の低温条件により薬害を生じる事がある。
著しい高温条件では薬害を生じる事がある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じる事がある。
前処理剤との組合せで使用する。
オモダカ・シズイ・クログワイ・エゾノサヤヌカグサ防除は有効な前処理剤との組合せで使用する。

A-3 11

SL-0604-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4	○	○4	○4		○3			○発生期		○始		+14～+35(イネ5L以降,ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○4	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○生育期		○始	コウキヤガラ:始	+14～+35(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)		○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○発生期		○始				○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈10cm※	○矢じり葉抽出前※	○発生期		○始	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○4	○	○4		○3	○3	○草丈10cm	○矢じり葉抽出前	○生育期		○始				○	○
九州 (早)	○4	○	○4	○始	○4	○4			○発生期		○始	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 12

SL-0613顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○4	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下) シズイ:生育期(草丈30cm以下)	+14～+40(イネ4L以降, ノビエ5Lまで)	1000g(散布液量100L)	●	○
北陸	○5	○	○4		○4	○4	○生育期(草丈30cm以下)	○*(草丈20cm以下)※	○生育期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)※	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期		コウキヤガラ:生育期(草丈30cm以下)			○	○
近・中・四	○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)	○*(草丈30cm以下)※	○生育期	○生育期					○	○
九州	○5	○	○花茎抽出始		○6	○6	●草丈30cm以下※	●草丈30cm以下※	○生育期	○生育期					●	○

*:発生盛期～矢じり葉抽出期

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(関東・東海)
前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 13

SL-0613顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○4	○	○4	○4	○3	○3			○生育期	○生育期			+14～+40(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)	1kg(顆粒のまま散布)	●	○
北陸	○4	○	○4		○3	○2			○生育期	○再生前～始			+14～+40(イネ5L以降,ノビエ4Lまで)		●	○
関東・東海	○4	○	○4		○3	○4			○発生期	○再生前～始			+14～+40(イネ5L～イネ6L以降,ノビエ4Lまで)		●	○
近・中・四 (暖)	○4	○	○4		○4	○3			○生育期	○再生前～始			+14～+40(イネ4L以降,ノビエ4Lまで)		●	○
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

A-3　　14

SW-063-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	クリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○5	○	○3	○4		○4		○* ※	○発生期				+25～+40(イネ4L以降,ノビエ5Lまで)	1kg	○	○
東北	○5	○	○花茎抽出始	○4	○5	○2	○草丈15cm	○* ※	○発生期				+25～+40(ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	○5	○	○5		○4	○3	○草丈30cm	○* ※	○生育期	○生育期					○	○
関東・東海	○5	○	○5		○4	○4	○草丈20cm	○* ※	○生育期	○生育期					○	○
近・中・四	○5	○	○5		○3	○4	○草丈30cm	○* ※	○生育期						○	○
九州	○5	○	○5		○5	○6	○草丈30cm※	○* ※	○生育期						○	○

*:発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(エゾノサヤヤヌカグサ)

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 1

BCH-051ジャンボ

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	30g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 2

BCH-051フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 3

BCH-062ジャンボ

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 4

BCH-063ジャンボ

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	50g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 5

KUH-021-1kg粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヤヌカグサ 7

SL-4902フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ　8

SL-4902-1kg粒

地域名	対象雑草:　エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ　9

SL-954-0.5kg粒

地域名	対象雑草:　エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	0.5kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四		-	
九州			
使用上の注意:			

A-4　特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ

BAH-041-1kg粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		1kg
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

BCH-032-1kg粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	●	始		
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始	※	30g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸) オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,東北,関東・東海,近・中・四,九州)				

A-4 オモダカ

BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500mL
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸) オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,東北,関東・東海,近・中・四,九州)				

A-4 オモダカ

BCH-052フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500mL
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-053フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	500mL
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-062ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	40g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-063ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始	※	50g×10コ
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

BCH-085L-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0605フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

HOK-0605(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0721粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北				
北陸	●	矢じり葉抽出前～矢じり葉1L		
関東・東海	●	矢じり葉抽出前～矢じり葉1L	※	
近・中・四	●	矢じり葉抽出前～矢じり葉1L		
九州	●	矢じり葉抽出前～矢じり葉1L	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。 落水もしくは浅水で散布し,2日間以上入水しない。				

A-4 オモダカ

HOK-0801ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始		
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0801(L)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北				
北陸				
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0801(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

HOK-0801(L)-1kg粒

地域名	対象雑草:　オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

KPP-398(L)フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始		

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-398(L)-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KPP-398フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

KUH-073-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始～広線形葉4L	※	
北陸				
関東・東海	●	始～広線形葉4L	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-609-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-617SB-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始～矢じり葉1L		1kg
東北	●	始～矢じり葉1L		
北陸	●	始～矢じり葉1L		
関東・東海	●	始～矢じり葉1L		
近・中・四	○	広線形葉～矢じり葉1L		
九州	○	始～矢じり葉1L	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,関東・東海)

A-4 オモダカ

NC-618-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始～矢じり葉1L		1kg
東北	●	始～矢じり葉1L		
北陸	●	始～矢じり葉1L		
関東・東海	●	始～矢じり葉1L		
近・中・四	○	始～矢じり葉1L		
九州	○	始～矢じり葉1L	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,関東・東海)

A-4 オモダカ

NC-621-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始		

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		30g×10ｺ
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500mL
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NC-627-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-051(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		50g×10ｺ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-071Dジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-071Dフロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NH-071D-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

NJM-754粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		3kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SB-556フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SB-556-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0602-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	矢じり葉抽出前	※	
北陸	○	矢じり葉抽出前	※	
関東・東海	○	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	○	矢じり葉抽出前	※	
九州	●	矢じり葉抽出前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0613顆粒水和

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
北陸	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈20cm以下)	※	
関東・東海	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	○	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
九州	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-0701-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	矢じり葉抽出前	※	
北陸	○	矢じり葉抽出前	※	
関東・東海	●	矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	○	矢じり葉抽出前	※	
九州	●	矢じり葉抽出前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-4901-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始		
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SL-4903-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SST-402-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

SST-404ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		40g×10コ
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

SW-043-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

SW-051-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	広線形葉4L	※	
北陸	○	広線形葉4L	※	
関東・東海	○	広線形葉4L	※	
近・中・四	○	広線形葉4L	※	
九州	●	広線形葉4L	※	
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北～近・中・四) オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)				

A-4 オモダカ

SW-052ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

SW-061-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

SW-062フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始		500ml
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四				
九州				
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 オモダカ

TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10コ
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-501ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		500ml
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	○	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-501-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州	●	始		

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

TH-601-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始		1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ

YH-650ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	前～始		500ml
東北	○	始		
北陸	○	前		
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州	○	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国,九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)

A-4 オモダカ

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	前～始	※	1kg
東北	●	前	※	
北陸	○	前	※	
関東・東海	○	前～始	※	
近・中・四	○	前	※	
九州	○	前	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,関東・東海)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近・中・四,九州)

A-4 オモダカ

BCH-031-1kg粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	○	始	※	1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,関東・東海)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,北陸,近・中・四,九州)

A-4 オモダカ

HOK-0301ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	●	始	※	500ml
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4　特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ

BAH-041-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-032-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-033-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-051ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				30g×10コ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

BCH-051ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

BCH-052ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始		

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-053ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

BCH-085L-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

DASH-001SC

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				100ml(散布液量100L)
東北	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
関東・東海	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。

A-4 クログワイ

HOK-0605ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0605ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0605-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0605(L)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0721粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	●	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸	●	生育期(草丈20cm以下)		
関東・東海				
近・中・四				
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-0801-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398(L)フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	前～始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398(L)-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-398-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KPP-406(L)フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

KUH-073-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海				
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-385SB顆粒水和

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				80g(散布液量500ml)
東北	●	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-604-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	○	始	※	
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-606ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-609-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NC-617SB-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始～草丈10cm	※	
北陸	○	始～草丈10cm		
関東・東海	●	始～草丈10cm		
近・中・四	○	始～草丈10cm		
九州	●	始～草丈10cm		

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

NC-618-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始～草丈10cm	※	
北陸	○	始～草丈10cm		
関東・東海	●	始～草丈10cm		
近・中・四	○	始～草丈10cm		
九州	●	始～草丈10cm		

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)

A-4 クログワイ

NC-621-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州	●	始		

※:クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,近・中・四,九州)

A-4 クログワイ

NH-051(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北	●	前～始		
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NH-071Dｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10ｺ
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

NH-071D-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SL-0602-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	草丈10cm	※	
北陸	○	草丈10cm	※	
関東・東海	○	草丈10cm	※	
近・中・四	○	草丈10cm	※	
九州	●	草丈10cm	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SL-0613顆粒水和

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
北陸	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
関東・東海	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	○	生育期(草丈30cm以下)	※	
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SL-0701-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸	○	草丈10cm		
関東・東海	●	草丈10cm	※	
近・中・四	○	草丈10cm		
九州	●	草丈10cm	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SL-4903-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四	●	始		
九州				
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SST-403フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始		
九州	●	始		
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SST-403-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	●	始	※	
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 クログワイ

SW-043-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	始	※	
北陸	○	始		
関東・東海	○	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-051-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
関東・東海	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
近・中・四	○	生育期(草丈20cm以下)	※	
九州	●	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する(東北,北陸)。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する(関東・東海)。
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国,九州)

A-4 クログワイ

SW-052ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸	●	前～始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-061-1kg粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸	●	前～始		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

SW-062ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸	●	始		
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				40g×10コ
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸	○	始		
関東・東海				
近・中・四	○	始		
九州				

使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-501-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-601フロアブル

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始		

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

TH-601-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ

HOK-222-1kg粒

地域名	対象雑草:　クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	●	前～始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:　クログワイ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(クサネム)

A-4 クサネム 1

BCH-031-1kg粒

地域名	対象雑草: クサネム	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	本葉2L	
北陸			
関東・東海	●	本葉2L	
近・中・四	●	本葉2L	
九州			
使用上の注意:			

A-4 クサネム 2

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草: クサネム	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	本葉1L	
北陸			
関東・東海	●	本葉1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。			

A-4 特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ

BAH-041-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

BCH-031-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

DASH-001SC

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			100ml(散布水量100L)
東北			
北陸			
関東・東海	○	生育期(草丈20cm以下)	
近・中・四	●	生育期(草丈20cm以下)	
九州	●	生育期(草丈20cm以下)	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KPP-398(L)ﾌﾛｱｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KPP-398(L)-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

KUH-074-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-051(H)-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	始	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-061-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-071Dｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

NH-071D-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0401-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	草丈10cm	
北陸			
関東・東海	○	草丈10cm	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0601ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0601-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0602-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	~~始~~ 生育期(草丈20cm以下)	
北陸			
関東・東海	○	~~始～草丈20cm~~ 生育期(草丈20cm以下)	
近・中・四	●	生育期(草丈20cm以下)	
九州	○	~~始～草丈20cm~~ 生育期(草丈20cm以下)	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0604-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-0701-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-4902ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-4902-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SL-4903-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州	●	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SST-403ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SST-403フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SST-403-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SST-404ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

SW-051-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	~~草丈15cm~~ 草丈10cm～15cm	
北陸			
関東・東海	○	~~草丈15cm~~ 草丈10cm～15cm	
近・中・四			
九州	●	草丈10～15cm	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-501ジャンボ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×1コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四	●	始	
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-501-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-547(Z)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四			
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-547(Z)-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	○	始	
北陸			
関東・東海	○	始	
近・中・四	●	始	
九州	○	始	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-601ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

TH-601-1kg粒

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

YH-650ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	○	前	
北陸			
関東・東海	○	前	
近・中・四			
九州	●	前	
使用上の注意:　コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 コウキヤガラ

YH-650-1kg粒

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州	●	前	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ

BCH-032-1kg粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

KPP-398ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

KUH-031粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			3kg
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NC-604ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			30g×10ｺ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			30g×10ｺ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NC-609-1kg粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NC-617SB-1kg粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NC-618-1kg粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NH-051(H)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			50g×10コ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

NH-061-1kg粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

SL-0601-1kg粒

地域名	対象雑草:　シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:　シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

SL-0602-1kg粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

SL-0613顆粒水和

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1000g(散布液量100L)
東北	●	生育期(草丈30cm以下)	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

SST-404ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10ｺ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ

TH-547(Z)ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			40g×10ｺ
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ

BCH-031-1kg粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ

BCH-062ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	40g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
BCH-063ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	50g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
KUH-041-1kg粒

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	始	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-609-1kg粒

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-627ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	30g×10ｺ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-627ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
NC-627-1kg粒

地域名	対象雑草:　ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
SL-954-0.5kg粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	0.5kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
SW-043-1kg粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
SW-062フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
TH-601フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
TH-601-1kg粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性コナギ)

A-4 SU抵抗性コナギ 2
SL-0602-1kg粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	3L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: SU抵抗性コナギ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性ホタルイ)

A-4 SU抵抗性ホタルイ 2

BCH-062ジャンボ

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	40g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 3

BCH-063ジャンボ

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	50g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 4

NC-609-1kg粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	1L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 5

NC-627ジャンボ

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	30g×10コ
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 6

NC-627(旧BCH-064)フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	500mL
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 7

NC-627(旧BCH-064)-1kg粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	1kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ 9

SL-954-0.5kg粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	●	2L	0.5kg
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(雑草イネ)

A-4 雑草イネ

HOK-0301-1kg粒

地域名	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	前～始(籾葉抽出期)	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 雑草イネ

NSK-850フロアブル

地域名	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			500ml
東北			
北陸			
関東・東海	●	前	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

A-4 雑草イネ

SL-498-1kg粒

地域名	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道			1kg
東北			
北陸			
関東・東海	●	前～始(籾葉抽出期)	
近・中・四			
九州			
使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。			

B　直播栽培

B　4

BCH-065Lﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●始				●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　5

BCH-085L-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　7

HOK-0605(L)-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　8

HOK-0605-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	●2.5	●	●2		●始					●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　9

HOK-0605S-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　13

KUH-074-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●3	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg	●	●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 14

NBA-101SBｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○始2	○始			○発生期				イネ1L～ノビエ2.5L	30g×10コ		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 15

NC-606ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L(砂壌土は2Lまで)	30g×10コ	●	●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 18

NH-051(H)ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～東北	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 20

NH-061-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 21

NH-071Dﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始			イネ出芽揃～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 22

NH-071D-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				イネ出芽揃～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　26

SL-0601-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	○4	○	○3 4			●2				●再生前～始			イネ1L～ノビエ4L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　29

SST-404ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	40g×10コ		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　30

SST-404フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○2.5	○	○2		○2	○始 2			○発生期	○再生前～始			イネ出芽始1L～ノビエ2.5L	500ml	○	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
　　処理後に出芽したイネには薬害を生じる事がある。

B　31

SST-404-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域 北海道～近・中・四	○2.5	○	○2		●始	●始			●発生期	○再生前～始			イネ出芽始1L～ノビエ2.5L	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
　　処理後に出芽したイネには薬害を生じる事がある。

B　33

SW-062フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期				イネ1L～ノビエ2.5L	500ml		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B　35

SYJ-157-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北陸～近・中・四	●2.5	●	●2		●始					●再生前～始			イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の低温条件により薬害を生じることがある。
　　イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B 44

SL-4901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●1	●	●始		●始	●始			●発生期				代かき後～-4,+0～ノビエ1L	500ml	●	●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B 45

SL-4901ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●1	●	●始		●始	●前			●発生期				+0～ノビエ1L	300ml		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B 46

SL-4901-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●1	●	●始		●始	●始			●発生期				代かき後～-4,+0～ノビエ1L	1kg		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B 49

BAS-3510(Na)粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域		○	○5		○5	●5							雑草生育期(イネ3L以降, 入水50日後まで)	3kg	●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

B 50

HOK-0721粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四	●4	●	●4										イネ4L以降,ノビエ4Lまで	3kg	●	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

B 51

KUH-073-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道～近・中・四	●3.5	●	●3		●2	●始							イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じる事がある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じる事がある。

B　52

NC-612-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○3.5	○	○3		●3	●3			●発生期				イネ3L以降，ノビエ3.5Lまで	1kg		○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する

B　53

SL-0401-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	○4		○3 4			○2 3							イネ3L以降，ノビエ4Lまで(九州はノビエ3Lまで)	1kg	○	○

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する

B　54

SL-0613顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●5		●5		●4				●発生期				イネ5L以降，ノビエ5Lまで	1000g (散布液量100L)		●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

B　55

SW-063-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～九州	●5	●	●4		●3	●3			●発生期	●再生前～始			イネ5L以降，ノビエ5Lまで	1kg		●

湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。

B　56

KUH-911(入水後)液

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
東北～近・中・四 九州												イボクサ:30cm クサネム:40cm	イネ4L以降(入水後)	50～100ml(散布液量100L)		○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　落水もしくは浅水で散布し，2日間以上入水しない。
前処理剤との組み合わせで使用する。
処理後黄化症状がみられる場合がある。

B　57

S-9146-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			は種直後～ノビエ3L	1kg	●	●

湛水もしくは潤土状態，乾田播種は入水後に使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

使用基準の更新

以下の剤について、使用基準を策定した。

1. 過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定。
2. 過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定。

A　移植栽培

A-1

HOK-0301-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期		○前	ｴｿﾞﾉｸﾞｻﾔﾔﾇｶｶﾞﾐ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前	雑草イネ:約～始(種茎抽出期)			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期		○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0301 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		●始※	○発生期			ｴｿﾞﾉｸﾞｻﾔﾔﾇｶｶﾞﾐ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	●前～始※	○発生期						○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●前～始※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●始※	○発生期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605(L) ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●前～始	●始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前(藻類)				○	○

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※		○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-222-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○始	○始	●前～始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　低温等による活着不良の場合には薬害が生じることがある。(東北)
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KPP-398 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KUH-021-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:2L エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ3L(砂壌土は+7～)	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○始	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性コナギ:2L			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L ミズアオイ:2L	+0～ノビエ2.5L	80g(散布液量500ml)	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始		○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-604 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始		シズイ:草丈3cm	+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NC-604-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ：草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四　(暨)	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NH-051(H) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前～始	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～始	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ：草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NH-051(H)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ：2L	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ：草丈3cm コウキヤガラ：5株			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　オモダカ・クログワイ・シズイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

NJM-754 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○2			○2		●前～始	○発生期		○前		+3～ノビエ1.5L	3kg	○	○
東北	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2							+3～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※								○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2	○始※		○発生期				+3～ノビエ2L（早期はノビエ1.5Lまで）		○（早期を除く）	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

※：クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SB-556-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期				+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○2		●前～始※	○発生期				+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期				+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○

<u>※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。</u>

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 活着不良の場合，散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(東北)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
<u>オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。</u>

A-1

SL-498-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○2	○	○始	○始	○始	○始			○発生期		○前		+0～ノビエ2L	1kg	○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2					○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2			○2					○前	イボクサ:再生始 <u>雑草イネ:前～始(稲葉抽出期)</u>			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2					○前				○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 田植え前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
<u>雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。</u>

A-1

SST-402-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※		○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始 SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能

※:<u>オモダカ</u>・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
<u>オモダカ</u>・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-403 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○前	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	<u>コウキヤガラ:始</u>			○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始		○発生期	○再生前～始	○前	<u>コウキヤガラ:始</u>			○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	●始		○発生期	○再生前～始	○前	<u>コウキヤガラ:始</u>			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-403-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	○始※		○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	●始※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SST-404 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生期	○再生前～始			+0～ノビエ2.5L	40g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○2	○始※	○始※	○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	●前～始※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海,九州)
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

SW-052 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期		○前		+1～ノビエ2.5L	50g×10コ	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期		○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生期		○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●前～始※	○発生期						○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-547(Z) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生期	○再生前～始		ｴｿﾞﾉｻｷｽﾞｶﾞﾗ:2L	+5～ノビエ3L	40g×10コ	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		シズイ:基本3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○
近・中・四	○3	○	○2 3		○2 3	○2 3	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の寒い多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2　体系(初期)

A-2

NSK-850 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)	500ml	○	○
東北	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○
北陸	○1	○													○	○
関東・東海 (営)	○1	○										雑草イネ:約			○	○
近・中・四 (営)	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		○	○
九州 (営)	○1	○											植代後～-4,+0～ノビエ1L		○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-2

YH-650 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○前～始	○発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前		○始	○発生期			ｺｳｷｬｶﾞﾗ:約	植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始	○前※	○前※	○発生期			SU抵抗性ホタルイ:始 ｺｳｷｬｶﾞﾗ:約			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始	○前	○前	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期			ｺｳｷｬｶﾞﾗ:約			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　SU抵抗性ホタルイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸,関東・東海,近畿・中国・四国,九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2

YH-650-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		●前～始※	○発生期				+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前		●前※	○発生期			クサネム:未展1L	植代後～-4, +0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期						○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始	●前※	○前～始※	○発生期			クサネム:未展1L コウキヤガラ:#3			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始	●前	○前※	○発生期						○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生期			コウキヤガラ:#3			○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸,近畿・中国・四国)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道,関東・東海)
クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。
クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3　体系(中後期)

A-3

SW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量/10a	砂壌土	壌土～埴土
北海道																
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈10～15cm シズイ:草丈10cm	+20～+30 (ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○4	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始		コウキヤガラ:草丈10～15cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈20cm※	○広線形葉4L※	○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○3.5	○	○3		○4	○4	●草丈30cm以下※	●広線形葉4L※	○発生期			コウキヤガラ:草丈10～15cm			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:　前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北～近畿・中国・四国)
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)
クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北,北陸)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国,九州)
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
[例:○始 (発生始)、○2 (2葉期まで)]
作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
使用上の注意は別途一覧表に添って文章で備考欄に記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
処理時期及び使用量を記載した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
作期の拡大:　作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: (~~普~~))
草種の拡大:　拡大された草種に●を印した。
葉齢の拡大:　拡大された葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
処理時期,使用量の拡大:　拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3～ノビエ2L, 100～150ml/10a)
土壌条件の拡大:　拡大された土壌に●を印した。
4. 藻類欄の／は、表層剥離への効果が確認されるまで判定を保留したもの。

Quality&Safety

消費者・生産農家の立場に立って、安全・安心な
食糧生産や環境保護に貢献して参ります。

SDSの水稲用除草剤成分
「ベンゾビシクロン」含有製品

SU抵抗性雑草対策に! アシカキ、イボクサ対策にも!

シロノック(フロアブル/ジャンボ/1キロ粒剤)
オークス(フロアブル/ジャンボ/1キロ粒剤)
サスケ-ラジカルジャンボ
トビキリジャンボ
イッテツ(フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ)/ボランティアジャンボ
テラガード(フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ/250グラム)
キチット(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)
新製品 非SU ・・・スマート(フロアブル/1キロ粒剤)
新製品 非SU ・・・サンシャイン(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)
新製品 非SU ・・・イネキング(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)
新製品 非SU ・・・ピラクロエース(フロアブル/1キロ粒剤)
新製品 ・・・忍(フロアブル/1キロ粒剤)
新製品 ・・・ハーディ1キロ粒剤
非SU ・・・テロス(フロアブル/1キロ粒剤/250グラム)
非SU ・・・カービー1キロ粒剤
ハイカット/サンパンチ1キロ粒剤
ダブルスターSB(1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒)
新製品 ・・・シリウスターボ(フロアブル/1キロ粒剤/ジャンボ)
シリウスいぶき(1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒)
新製品 ・・・プラスワン(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)
新製品 ・・・ゲキハ/ボス1キロ粒剤
非SU ・・・イネエース1キロ粒剤
非SU ・・・ウエスフロアブル
非SU ・・・フォーカスショットジャンボ/プレッサフロアブル

株式会社エス・ディー・エス バイオテック
〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目1番5号 ヒューリック東日本橋ビル
TEL.03-5825-5522 FAX.03-5825-5502 http://www.sdsbio.co.jp

日本雑草学会　創立５０周年記念事業について

日本雑草学会は本年に創立50周年を迎えます。この間に日本雑草学会が創出してきた雑草とその制御に関する研究成果は，除草剤の開発・導入を基軸として農林業生産の省力化と低コスト化に大きく貢献してきました。また，雑草生物学としては，アレロパシーをはじめとする化学生態学，植物を主とした多様性生物学，雑草の特性の利活用に関わる応用植物学，除草剤の抵抗性に関わる分子生物学など広範囲の新たな領域を開拓し，農業はもとより環境保全や国民生活の向上にも寄与しています。研究成果は和文誌「雑草研究」と英文誌「Weed Biology and Management」により，最近では電子ジャーナル化を含めて日本のみならず世界に向けた発信につとめております。特に英文誌は，平成20年度にインパクトファクター値が付与され，アジア太平洋地域での国際的役割を固めてきたところです。わが国の農林業をとりまく状況が厳しさを加える中で，生産物の低コスト・省力化に繋がる合理的な雑草管理が強く要請され，より安全・安心を求める国民の期待に応え得る優れた除草剤や各種雑草管理技術，さらにはより環境に配慮した技術の開発が求められているところです。本学会は，これらの観点から雑草生物学やその管理と利用に関わる基礎科学をさらに深化させるとともに，除草剤など農薬の基礎知識と安全使用に関する研究と知識の普及に引き続き取り組むこととしております。創立50周年を迎えるにあたり，以下のような記念事業を実施するとともに，次の50年への発展を期することとしています。

（1）第50回記念大会の開催

平成23年4月2・3日に東京大学弥生キャンパスにおいて第50回記念大会を開催します。記念大会では，記念講演会，記念式典および祝賀会を挙行します。記念式典では，長年にわたり日本雑草学会に功労のあった方々を表彰します。また，これまでの講演会の一部を13のセッション形式とし，それぞれのテーマについて最新の研究成果をもとに議論を深めます。

（2）第50回記念シンポジウムの開催

平成23年9月4日に浜離宮朝日ホール（東京都中央区）において「雑草から学ぶ環境と農業－日本の雑草学50年の歩みと新たな挑戦－」をテーマに記念シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは，日本雑草学会が蓄積してきた研究成果を社会に還元し，環境や食料生産にかかわる問題理解の一助とする目的で，雑草の科学及び除草剤の科学について広く高校生，大学生及び社会人に理解しやすく伝えることとしています。

（3）雑草学事典の編纂・出版

雑草学における主要な専門用語と雑草および除草剤について解説した事典（CD版）を刊行します。遺伝子組換え技術，新規除草剤開発，外来侵入植物問題などの雑草科学の新しい研究展開に伴って雑草学の領域は拡大し，雑草科学に関連する専門用語も増えています。本事典では雑草学の主要な用語と雑草や除草剤を平易に解説し，それらの体系化をはかります。解説項目数1700（見出し語2300）で刷り上り350ページ程度（A4版）の予定です。

（4）「50年のあゆみ」の制作・配布

日本雑草学会50年の研究成果と展望，雑草学会小史，会員からの寄稿，歴代役員名簿からなる「日本雑草学会50年のあゆみ－雑草科学50年の変遷と今後の展望」を制作し，国内会員に配布します。研究の変遷と展望では，雑草生物学，雑草制御学，雑草利用学のそれぞれについて，研究成果と展望のレビュー記事が掲載されます。また，全ての歴代役員の氏名が掲載されます。刷り上がり150ページ程度（A4版）の予定です。

（5）学会内外に向けた情報発信機能の強化

学会ホームページを一般の方にも親しみやすく，情報を提供すると同時に，会員専用ページを更に充実してサービスを向上します。学会誌の電子ジャーナル化を進め，バックナンバーをWebで公開して研究成果の社会的活用を促進します。また，学会誌の電子論文投稿・電子審査システムを導入して，論文編集機能の強化をはかります。

（6）地域雑草研究の活性化

50周年記念事業を地域雑草研究会や地域の支部会とともに取り組むことにより，地域雑草研究の活性化をはかります。

（7）基金の充実

本学会の目標達成に向けた活動強化のために基金を設置して，国際活動や学術研究会活動など将来に向けた学会活性化のための取り組みに活用します。

（日本雑草学会　会長　佐合隆一）

農薬生物活性研究会第28回シンポジウムの開催について

日本農薬学会の学術小集会のひとつである農薬生物活性研究会は、第28回シンポジウムを開催いたします。皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

開催概要

日　時：平成23年4月22日(金) 10：00～16：25
場　所：東京農業大学 校友会館グリーンアカデミー 3F 大会議室
東京都世田谷区桜丘3-9-31（小田急線経堂駅または千歳船橋駅から徒歩15分）
http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html
参加料：一般：3,000円，学生：1,000円（講演要旨代含む）
申　込：当日直接会場へお越しください
連絡先：東京農業大学農学部農学科植物病理学研究室　根岸寛光
Tel：046-270-6498，Fax：046-270-6226，E-mail：negishi@nodai.ac.jp

プログラム

10:00～10:05　開会あいさつ
10:05～10:40　新規殺菌剤フルチアニル（商品名：ガッテン）の開発と生物活性
木村 幸（大塚アグリテクノ株式会社）
10:40～11:15　新規微生物殺菌剤アグロケア水和剤の開発と生物活性
前田光紀（日本曹達株式会社）
11:15～11:35　フルアジナムによる土壌病害防除
杉本光二（石原産業株式会社）
11:35～12:10　Soybean White Mold in Brazil and Fluazinam activities（仮題）
Hercules Diniz Campos and Luis Henrique Carregal (Rio Verde University)
12:10～13:10　休憩（昼食）
13:10～13:45　新規殺虫剤レピメクチン乳剤（アニキ乳剤）の特徴（仮題）
一ノ瀬礼司（三井化学アグロ株式会社）
13:45～14:20　新規線虫剤イミシアホスの開発と生物活性（仮題）
逸見信弥（アグロカネショウ株式会社）
14:20～14:55　新規芝用除草剤コンクルード顆粒水和剤の開発と生物活性
冨田和之（日本曹達株式会社）
14:55～15:10　休憩
15:10～15:45　新規水田用除草剤フェノキサスルホンの開発と生物活性（仮題）
高橋　優樹（クミアイ化学工業株式会社）
15:45～16:20　新規畑地用除草剤プロスルホカルブの開発と生物活性（仮題）
山下 修（シンジェンタジャパン株式会社）
16:20～16:25　閉会あいさつ

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話（03）3832-4188（代）
FAX（03）3833-1807
http://www.japr.or.jp/

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長 小川　奎
発行人　植調編集印刷事務所 元村廣司

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話（03）3833－1821（代）
FAX（03）3833－1665

平成23年2月発行定価525円(本体500円＋消費税25円)
植調第44巻第11号　(送料270円)
印刷所　㈲ネットワン

難防除雑草対策の新製品 忍®（シノビ） 1キロ粒剤・フロアブル

大好評の製品ラインナップ

SU抵抗性雑草・難防除雑草対策に
イッテツ® 1キロ粒剤 ジャンボ フロアブル

SU抵抗性雑草対応・田植同時処理にも対応
ドニチ®S1キロ粒剤
ヨシキタ® 1キロ粒剤 ジャンボ フロアブル

殺虫性分入り（スクミリンゴガイ食害防止）
ショウリョク® ジャンボ

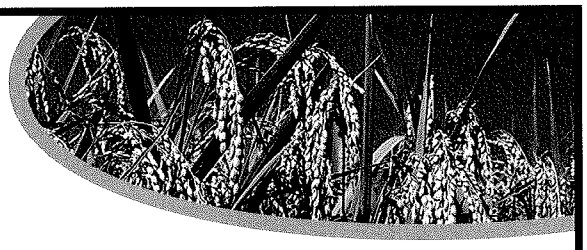
2成分のジャンボ剤
ゴヨウダ® ジャンボ

アピロイーグル® フロアブル
アワード® フロアブル
キックバイ®1キロ粒剤
クラッシュ®EX ジャンボ
シェリフ® 1キロ粒剤
テイクオフ® 粒剤
バトル® 粒剤
ロンゲット® フロアブル

会員募集中
お客様相談室 ナビダイヤル 0570-058-669
農業支援サイト i-農力 http://www.i-nouryoku.com

大地のめぐみ、まっすぐ人へ SCGGROUP
住友化学
住友化学株式会社

DUPONT® The miracles of science™

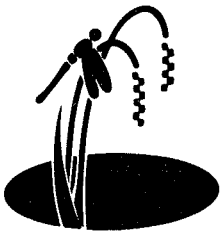


米国生まれ、米の国育ち、DPX-84

1987年に上市したベンスルフロンメチル（DPX-84）は、

●抵抗性雑草対策場面でも
●田植え同時でも
●直播栽培でも

多様な剤型で、これからも日本の水田除草をお手伝いします。



上記マークがついている除草剤にはDPX-84が含まれています。

®は米国デュポン社の登録商標です。

デュポン株式会社 農業製品事業部 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1

新発売

少数精鋭 2成分・一発 &ワイド除草

MY-100

ピリミスルファン

水稲用 初・中期一発処理除草剤

マイウェイ®

1キロ粒剤・豆つぶ250・ジャンボ

田植同時処理には

マイウェイゼロ®

1キロ粒剤

道さん

米さん

自然に学び自然を守る

クミカ

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

JAグループ

農協 全農 経済連

全農は登録商標 第4702318号

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

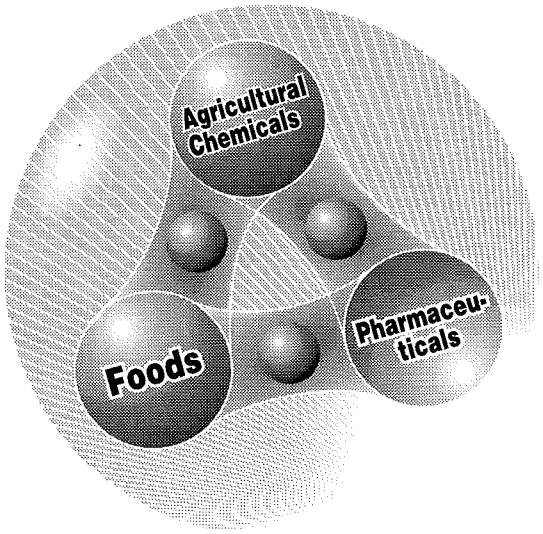
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036

ホームページ http://www.kumiai-chem.co.jp

いのちの輝きを見つめる

Meiji

私たちは、夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、
世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します。



植物成長調整剤

ジャスモメート

液剤

明治製菓株式会社

104-8002 東京都中央区京橋2-4-16

http://www.meiji.co.jp/nouyaku

平成二十三年二月発行